

NACCSプログラム変更要望一覧（2022年度分）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-001	貨物	-	複数ログイン可能	保税蔵置場毎にログインを行っている	複数の保税蔵置場にログインできるようにして頂きたい。（複数のNACCS画面で処理できるようにして頂きたい）	複数の保税蔵置場の内容を同時に確認する為。	10件以下/月
R03-002	貨物	ACH11	ACH11画面展開時、日本到着日が世界標準時間基準で前日となる便についても、到着年月日欄に年月日が自動反映するように設定していただきたい。	便到着後、事前送信されたMAWB/HAWBデータと、到着した貨物書類との照合確認を行う（IAF11, IAF12とAWBの内容を照合し確認する）。その後、確認した内容に基づき加筆修正した情報でAWB登録するためにACH11画面を展開するが、日本時間に対し世界標準時間では前日の日付で到着する便について、年月日が自動反映されないため、手入力しなければならない。 例) ○○/SIN-FUK 到着時間 日本時間 5月5日午前8:20 世界標準時間 5月4日23:20 上記FLTの場合、ACH11画面展開時 到着年月日欄が空欄となっている。	ACH11画面展開時、運航日が日本時間に対して世界標準時間基準で前日到着となる便についても、到着年月日が自動反映するように設定していただきたい。	手入力での作業がなくなり、作業効率向上および誤入力防止効果が見込まれる。	11~100件/月
R03-003	貨物	ACL01	"_"入力できるようにしてほしい	アタッチシートなどマニュアル対応	メールアドレスの入力必須の機会が増え、"_"の使用頻度が多くなった		10件以下/月
R03-004	貨物	ACL01	禁止文字であるアンダーバー(_)を入力可能に	_(アンダーバー)を入力するとエラーになる	アンダーバーを禁止文字から外してほしい	メールアドレスで使用頻度が結構ある	11~100件/月
R03-005	貨物	ACL01	ACL個数・重量のチェック機能	同じ個数・重量・数量を複数入力する欄があるが、入力異なってもそのまま通ってしまう	同じ個数・重量・数量を入力すべき場面であるので、 ①異なる数値を入力した場合にエラーとなる ②自動的に反映するようにしていただきたい。	入力項目が多く入力・チェックに困難を極める。（ACLではなくB/L DRAFTに直接入力して提出したこともある）同じ数値を入力しなければならない項目のチェック機能が働けば、些細なミスでカット後に作業しなければならない事例も減り、船会社・通関業者ともに生産性の向上につながると思います。	10件以下/月
R03-006	貨物	ACL01	ACL画面の平面化	一業務でスクロールすべき画面が多い。	複数画面をスクロールしながら入力するのではなく、IDAやEDAのように、タブに分けていただくなど一画面表示を希望します。	一画面上でスクロールしなければ入力箇所が出てこない項目が多く、入力漏れが多発する。画面構造が複雑な為、入力者が混乱したり引継ぎの際に困難を極める。画面構造がわかりやすくなれば送信後にミスが発覚する事故も減り、ペーパーレスにも対応しやすくなります。	10件以下/月
R03-007	貨物	ACL01	ACL送信時の禁止文字送信不可を送信可にしてもらいたい。アンダーバー	ACL送信時にE-MAILアドレスにアンダーバーを使用している場合、送信時にはblankで送信し個々に船社/代理店へ追記依頼をしている。	E-MAILアドレスではアンダーバーを使用している案件が多いため送信可として文字を識別してもらいたい。	アンダーバーは使用頻度が高く、ACL送信とは別に船社、代理店に連絡を入れないといけない為、漏れの可能性もあり、訂正頻度を減らすため。	11~100件/月
R03-008	貨物	ACL01	使用禁止文字=半角カタカナ、\$, [,], ^, _、などがあるが"_"(アンダーバー)は、メールアドレスで、頻繁に使われている為禁止文字より、除外して欲しい	入力が出来ない。 使用禁止文字"_"(アンダーバー)が含まれるメールアドレスは代理店に都度、訂正依頼をしている。	使用禁止文字"_"(アンダーバー)は、禁止文字の対象外として欲しい（7次NACCS変更されますが6次NACCSでの改変を希望します）	都度依頼は、工数がかかるうえ間違いの元である。	101~1000件/月
R03-009	貨物	ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)の入力画面で、積載予定船舶は船舶コードのみの表示だが、本船名も確認出来るようにしてほしい	本船名は、ACL送信後に確認できるが、登録時は確認出来ない	情報登録の画面でも、本船名が確認出来る仕様にして欲しい	コードではなく、本船名として、確認出来ると間違い防止になる。	101~1000件/月
R03-010	貨物	ACL01	禁止文字を使用可	_(アンダーバー) 禁止	_(アンダーバー) 使用可	諸外国のルールによりコンサイニー欄にEmail Addressを記載しなければならないケースが増えてきたため	
R03-011	貨物	ACL01	BLコピー一部数欄追加	なし	コピー一部数欄追加	お客様の要望	

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-012	貨物	ACL01	Ultimate Final Destination記載不可	Ultimate Final Destination使用可	使用不可希望	Final Destinationを最終仕向け地としているので、それ以降の向け地に関しては必要をしないため	
R03-013	貨物	ACL01	送信者の名前・電話番号・Email Addressを必須項目とする	電話番号欄のみ	Email Address欄追加	問い合わせスタイルの変化に伴い、Email Address欄を設けて欲しい	
R03-014	貨物	ACL01	コード欄追加	なし	SCACコード欄追加	以前より北米向け、AMS FilerのNVOCCはSCACコードにてAMS送信が必須であるのにそれを記載する項目がないため	
R03-015	貨物	ACL01, ACL11	荷姿コード「PP」の表示内容の変更	荷姿コード「PP」はPALLET & PACKAGEと表示される。 通関業者によるACL作成時若しくは船社、NVOCCによるBL作成時にPALLETと修正している	荷姿コード「PP」の表示内容はPALLET&PACKAGEとなっているが、PACKAGEは荷姿コード「PK」があるので、「PP」の表示内容はPALLETのみにして欲しい。	<理由>荷姿コード「PP」の表示内容はPALLET&PACKAGEとなっている為に通関業者によるACL作成時若しくは船社、NVOCCによるBL作成時にPALLETに修正しなければならない。 BL作成時に見過ごされてBL訂正も発生している。 <効果>荷姿コード「PP」の表示内容をPALLETのみすることで、ACL作成時及びBL作成時の修正作業が削減され、修正漏れによるBL訂正も減少する	101~1000件/月
R03-016	貨物	ACL02	外部データを使用して仮送信した後、再度同データを開くと入力したグロス容積が消えている。	外部データを使用して送信した後、再度同データを開くと入力したグロス容積が消えている。	ACL02の共通部2、グロス容積を外部ファイルを使用して送信しても入力したグロス容積が反映されるようにしていただきたいです。	ACL仮登録後、毎回毎回 共通部2のグロス容積に容積を手入力せずに済むので入力ミスが減る効果が見込まれます。	101~1000件/月
R03-017	貨物	ADM・HDM・EAW・EPK	帳票出力（ADM・HDM・EAW・EPK）	<毎日使用> 業務登録後、自動で帳票が出力される。	<保税蔵置場> 業務登録後の帳票出力について、閲覧のみで支障がない業務については入力者にて設定可能としたい。	排出用紙の抑制。	
R03-018	貨物	BIA	OLT（1件のOLT最大5件）で保税運送された貨物につき、その後、弊課（保税倉庫）において、BIAで搬入登録を行うが、システムデータが全く活用出来ていない為、全て手入力となっている。OLT情報があるので活用して頂きたい。具体的には、【OLT番号を入力→展開処理・等の機能を追加頂き、追加機能により、OLT番号に紐づく各情報をBIA画面へ展開頂きたい。具体的には①貨物管理番号(B/L番号)、②到着個数、③荷姿、④記号番号、⑤記事を展開】して欲しい。その情報に対して、【実際の貨物入庫時の情報に基づき、変更等・修正を行った上で、搬入登録を行う運用】が望ましいと考えます。	OLT（1件のOLT最大5件）で保税運送された貨物につき、その後、弊課（保税倉庫）において、BIAで搬入登録を行うが、システムデータが全く活用出来ていない為、全て手入力となっている。OLT情報があるので活用して頂きたい。	具体的には、【OLT番号を入力→展開処理・等の機能を追加頂き、追加機能により、OLT番号に紐づく各情報をBIA画面へ展開頂きたい。具体的には①貨物管理番号(B/L番号)、②到着個数、③荷姿、④記号番号、⑤記事を展開】して欲しい。その情報に対して、【実際の貨物入庫時の情報に基づき、変更等・修正を行った上で、搬入登録を行う運用】が望ましいと考えます。	OLTで保税運送され、倉庫でBIAで搬入登録を行うHouse-B/L（貨物情報）件数が多い場合、現状の運用では、全て手入力での登録である為、非常に時間を要す等、非効率となっており、上流情報がまるで活用出来ていない。同機能を追加する事で、上流情報(OLTの情報)に対しての、実際の搬入貨物のタリー結果への確認・修正にBIA処理時には注力できる為、入力齟齬の軽減と、保税非違の削減に寄与するものと考え致します。	11~100件/月
R03-019	貨物	BIC	BICの取り消しが出来るようにしてほしい	保税倉庫でBIFをするか、BOBをして新たにECRを取得する	CYCのようにBICでも搬入取り消しが出来るようにしてほしい	ECR取得者が貨物情報訂正可能となる	10件以下/月
R03-020	貨物	BII BIL BIC	搬入確認登録を取り消すための業務コードの設定	当該取消用のコードは無いことから搬出用の他コードによって一旦内貨引取を実施し、その後改めて輸出するためには、新たな貨物管理番号（AWB番号）を別途取得しなければ搬入確認登録を実施することができないなど業務手順が煩雑と思われる。	本船スケジュールの乱れなどを理由として保税搬入後に申告保留または輸出の延期を要する状況は想定される。現行システムではスケジュール等が確定するまでは保税蔵置状態を維持する運用となるが、その間の誤認による申告や貨物流出を懸念する。かかる曖昧な状況にあって内貨状態（未申告貨物）であるならば搬入登録を直ちに取消して内貨蔵置エリアに貨物を移動し、その後の確定にあっては同一の貨物管理番号（AWB番号）によって再度搬入確認登録できる仕様としていただきたい。	保税事故の抑制 業務手順の単純化 保税管理上の誤認防止	10件以下/月
R03-021	貨物	BIL	BILを入力を複数できるようにしてもらいたい	1BL分の入力	現在BILの入力は1BL分だけであるが、複数（5~10BLぐらい）できるようにしてもらいたい	業務の効率化	101~1000件/月
R03-022	貨物	BOC	輸出業務において、許可書のマニュアル訂正後のNACCS処理可能範囲の設定変更	許可後及び出港後の個数訂正する場合、出港日が過ぎても仕分処理（SHS）は可能だが、許可書はマニュアル訂正となる。	出港日が過ぎて、許可書をマニュアル訂正した場合、搬出処理（BOC）までは、NACCSにて処理できるようにして頂きたい。	税関での貨物情報データの削除処理をお願いする事になる為。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-023	貨物	BOC	BOCで貨物を全量搬出する場合、重量に対してはガードがかからず、重量を間違えて登録することができてしまう。分割してBOCを行う時ではなく、個数で全量搬出が確認できる場合は、重量はブランクで送信すると当初重量を呼び出せる仕様や、重量が不一致の場合はエラーで送信できない仕様に変更してほしい。	BOCは貨物重量に対して、ガードがかからない	BOCで貨物を全量搬出する場合、重量に対してはガードがかからず、重量を間違えて登録することができてしまう。分割してBOCを行う時ではなく、個数で全量搬出が確認できる場合は、重量はブランクで送信すると当初重量を呼び出せる仕様や、重量が不一致の場合はエラーで送信できない仕様に変更してほしい。	適切な保稅管理。変更業務工数の削減。	11~100件/月
R03-024	貨物	CAI	本申告起動後、口座使用不可状態または担保不足などで輸入許可保留となった貨物が個数割れとなった場合でもCAIで個数訂正(積み上げ)を可能とする。	税関へのファイル変更届を提出し個数訂正を実施いただいている。	本申告起動後、口座使用不可状態または担保不足などで輸入許可保留となった貨物が個数割れとなった場合でもCAIで個数訂正(積み上げ)を可能とする。	ファイル変更処理の軽減。	10件以下/月
R03-025	貨物	CAI01	訂正保留時のIAW上の表示が2種類存在するが統一していただきたい。	①IAWの“突合済”の欄が、“2”となるパターン ②IAWの“CAI保留”の欄が“*”となるパターン	②に統一していただきたい。	①では訂正保留を見逃す恐れがあるため。	10件以下/月
R03-026	貨物	CAI01	HCH登録がされている場合でも、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正を可能としていただきたい。	HCH登録がされている場合、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正ができない。MAWBデータを訂正する際は、HCH入力者へ連絡し、HCH情報を削除していただく手続きを取っている。	HCH登録がされている場合は、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正ができない為、HCH入力者へHCH情報の削除を依頼の上対応しているが、非常に手間であることや、お客様へHCHの削除と再登録をお願いすることから、利便性向上のためにも制限を緩和していただきたい。	・作業工数の削減 ・HCH情報登録の有無に左右されないため、お客様によるHCH情報の削除と再登録が不要	10件以下/月
R03-027	貨物	CAI01	一度AA蔵置場より搬出確認登録(EXA)を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録(BIN)を実施した後、再度BB蔵置場より搬出確認登録(EXA)を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録(BIN)を実施し、輸入貨物情報変更登録(CAI01)にて輸入DBの訂正を試みるも、“当該貨物は搬出済み”とのエラーが発生し訂正できない為、再度搬入した際に輸入DBを訂正できる仕様としていただきたい。	一度AA蔵置場より搬出確認登録(EXA)を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録(BIN)を実施した後、再度BB蔵置場より搬出確認登録(EXA)を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録(BIN)を実施し、輸入貨物情報変更登録(CAI01)にて輸入DBの訂正を試みるも、“当該貨物は搬出済み”とのエラーが発生し訂正できない為、都度税関に報告し、対応方法につき指示を仰いでいる。(基本的にPREFIXを変更して再登録等の対応を行っている)	搬出済みの貨物でNACCS登録情報に変更が発生した場合には、輸出DBと輸入DBの整合性を取る必要があることから、搬出済みの貨物を引き戻した際に訂正が可能な仕様としていただきたい。	・都度税関とNACCS登録情報についての調整が不要 ・PREFIXを変更しての再登録の必要がなく、既存のDBを訂正して次工程の作業に繋げることが可能。 ・NACCS管理資料に不要なデータがの記帳されない。	10件以下/月
R03-028	貨物	CAI01	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない為、0.1KG単位であっても訂正出来るようにして頂きたい。	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない。	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない為、0.1KG単位であっても訂正出来るようにして頂きたい。	CAI01 輸入貨物情報変更登録にて重量訂正が0.1KG単位で訂正する際に便宜上、数キロ単位を上げて訂正した後に、正しい重量へ変更している為、手間となっている。	10件以下/月
R03-029	貨物	CAI01	CAIにて訂正可能な項目を増やしていただきたい。到着時刻。	そもそもCAI01にて展開する画面に到着時刻の項目が反映されていない。よって到着時刻を訂正する術がない。	CAI01にて到着時刻の変更が可能となるようにしていただきたい。	現行では訂正できる術がない。税関でも対応不可。	10件以下/月
R03-030	貨物	CAI01	到着年月日と搬入年月日の訂正につき、航空会社利用者コードの上屋「XXX」に蔵置している貨物に対しては訂正できない為、訂正が可能となるようにしていただきたい。	到着年月日と搬入年月日の訂正につき、保税蔵置場利用者コードの上屋「〇〇」に蔵置している貨物については訂正可能であるが、航空会社利用者コードの上屋「XXX」に蔵置している貨物に対しては訂正できない為、XXXに蔵置している貨物に対しても訂正が可能になるようにしていただきたい。現行XXXに蔵置中の貨物に対して到着年月日及び搬入年月日の訂正が発生した場合、CAI01にて蔵置場を一旦まる〇〇に変更⇒CAI01にて到着年月日及び搬入年月日の訂正⇒CAI01にて蔵置場を一旦XXXに変更している。	同左	・工数削減 ・不要なCAI業務の削減	10件以下/月
R03-031	貨物	CAI01	CAI保留が出ないようにしてほしい	CAI保留がでると保税にて解除してもらう	CAI保留が出ないようにしてほしい	保税まで行く必要がなくなる。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-032	貨物	CAS	海上貨物においてシステムで併せ運送兼用で行われたIS承認手続きについて、蔵入先保税地域を管理する利用者が到着確認できるようにしてほしい。	海上貨物において、IS承認済貨物管理をNACCSで行わない蔵置場でIS承認し貨物情報削除後、当該蔵置場からセカンドIS（併せ運送兼用）で転送された貨物を搬入する際、システムでの到着確認はできず、マニュアルでの到着確認手続きが必要になっている。	貨物情報削除後のIS承認貨物（併せ運送兼用）の到着確認手続きについて、航空貨物のBAS同様、海上貨物についても蔵入先保税地域を管理する利用者が到着確認手続きができるよう新規業務を追加してほしい。運用は以下の通りとする。 ・貨物情報ありの場合 BIAで到着確認 ・貨物情報がない場合 新規業務で到着確認	到着確認手続きのため税関へ行く必要がなくなる。	101～1000件/月
R03-033	貨物	CDB	ECRの出力先設定	AIR NACCSではCDB業務で出力される伝票は作成者が設定するプリンターのみに出力されると理解していますが、SEA-NACCSの場合は、ECRで出力される伝票は作成者プリンターと保税蔵置場に出力されています。AIR-NACCSでも同様に複数箇所への出力ができないか。	ECRで出力される伝票を作成者プリンターと保税蔵置場の複数箇所へ出力ができるようにしてほしい	プリンターからの取り出し後のFAX等二度手間が無くなり、業務の効率化が図れる	1001件以上/月
R03-034	貨物	CDB	利用者コード下3桁一致で通関業者の制限解除	通関利用者コードをUNKであれば通関業者の制限はありませんが、搬入番号（AWB番号）が分かれば、誰でも申告できてしまうため、事故につながる可能性はある。	利用者コードの後半部分は各通関業者の3桁で統一されています。利用者コード下3桁一致で申告可能となれば、蔵置場にAIB依頼せずともどこからでも申告可能となります。	制限が無くなるためBCPの観点で便利になる。	1001件以上/月
R03-035	貨物	CHG	海上貨物から航空貨物への貨物情報切り替えの利便性を向上させてほしい。	CHG業務後、保税蔵置場へ搬入されるまで混載仕立て登録が行えない。CHG業務後に搬入可能な蔵置場は空港内蔵置場または航空会社のみになっている。（空港外蔵置場では海上貨物から航空貨物への切り替え仕立て業務が出来ない）航空会社への搬入はEXM業務によるマスター搬出を行うが、CHG業務で登録AWBはHAWBでしか行えない。CHG業務後は訂正・取り消し業務が行えないため、誤入力をした場合税関への相談（マニュアル対応）になると思われる。	日本を経由した第3国向けSEA&AIRサービスの提供を行いたい。日本到着後、貨物は仮陸揚げ状態で港から空港へ横持ちするサービス。	中国並びに東南アジア発北米（欧州）向け海上コンテナのスペースひっ迫解消が図れる。日本国内へ第3国から貨物を集め、港湾施設並びに空港（空港隣接施設）を有効に活用する。	101～1000件/月
R03-036	貨物	CHT HCC CHN CHS CFS		①現行の仕様では、CHTのキャンセルを行うと、過去全てのRe-iceの記録が削除されてしまう ②現行の仕様では、主に”Z” DMG内点にてHCCを行うと取扱い料が減算されてしまう ③現行の仕様では、CHNにて内点登録する際に、取扱い控えを出力させるのに「入力情報特定番号」の欄に「A」を入力しないと取扱い控えが出力しない。 ④現行の仕様では、CHSにて改装仕分けの登録を行う際に、取扱い控えを出力させるのに「入力情報特定番号」欄に「A」を入力しないと取り扱え控えが出力しない。 ⑤現行の仕様では、CFSにて改装仕分け登録を行う際に、いわゆる「RESULT」を出力させるのに「取扱変更」欄に「Y」を入力しないと「RESULT」が対象代理店の端末から出力しない。	①削除回数を指定出来る様仕様変更を望む。 ②代理店等の都合で内点中に全量内点したいという場合があり、その際、NACCS上は減算を取り消すことが出来ないため減算実施後の減算の取消しが出来る仕様変更を望む。 ③CHNを登録すると自動で取扱い控えが出力するように仕様変更を望む。 ④CHSを登録すると自動で取扱い控えが出力するよう仕様変更を望む。 ⑤CFSを登録すると自動で対象代理店の端末から「RESULT」が出力するよう仕様変更。 ・NACCS利用停止時間の縮小。（1時間から30分への短縮。2日に1回など頻度を減らす。） ・三国間貨物の到着貨物データの表示期間の延長。（現行7営業日でデータが消えてしまう。）	作業効率化、労力と時間の削減効果。	
R03-037	貨物	CMR11	CMR12?のような業務コードを作って欲しい	CMR11にてDMF前までのみ呼び出し、処理可能。	DMF後も出港前報告の追加申請が必要になるケースがある。手入力ではなく、CMR11>>DMF後はCMR12を新設?から処理を進めたい。	手入力での誤入力防止、作業時短、効率UP。	11～100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-038	貨物	CRS01	T53 LONG-DATE STORE REPORTに蔵入延長の期間を表示してほしい	T53-LONG-DATE STORE REPORTは蔵入承認日から21カ月を経過した情報が出力されるが、外国貨物蔵置期間延長承認申請がされたものも併せて表示されてしまうため、延長がされているものとの区別がつかない。	T53-LONG-DATE STORE REPORTについて①～③いずれかの外国貨物蔵置期間延長承認申請への対応を行い願いたい。 ①税関による延長日の入力 外国貨物蔵置期間延長承認申請を税関が受理後、機用品在庫に対して税関が”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を登録する。 ② 外国貨物蔵置期間延長承認申請をNACCSでシステム化して延長日を登録 外国貨物蔵置期間延長承認申請をシステム化し新規業務を追加し、機用品在庫に対して”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を登録する。 ③機用品業者による延長日の入力 CRS01に”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”の項目を追加して機用品業者にて入力する。 上記の”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”の追加によりT53-LONG-DATE STORE REPORTの収集条件を延長しているものは「延長を必要とする期間(満了日)から」3カ月、延長していないものは「蔵入れ満了日から」3カ月の情報が出力されるよう変更、また、ICR(機用品在庫管理情報照会)で”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を確認できるようにする。	T53-LONG-DATE STORE REPORTの表示が蔵入れ承認日を参照した昇順の並びとなっている。 外国貨物蔵置期間延長承認申の満了日を基準とすることで、同じ月に蔵置期限を迎える情報が前後することなく、常に昇順でアップデートされるメリットがある。	11~100件/月
R03-039	貨物	CY0	コンテナ情報の再利用	CY0を行う前に、輸出コンテナとしてCYAやVANが行われてコンテナ情報が再利用されると、輸入貨物情報とコンテナ情報が引き離され、輸入コンテナのCY0ができなくなるため、輸入貨物情報が滞留する可能性がある。滞留した場合は、税関に貨物情報削除の依頼を行っている。	このような事象が発生しないようにしてほしい。	税関への貨物情報削除を依頼する必要がなくなる。	
R03-040	貨物	CY0	検査コンテナの搬出仕様について	1コンテナに複数BLが混載されて、一部輸入許可、一部検査になる場合がある。検査貨物のためCY0で搬出を行いたい、この場合は、コンテナの中身が全部輸入許可にならないとCY0搬出できない。(検査搬出のためのCY0ができない)	このような事象が発生しないようにしてほしい。		
R03-041	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の”9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORした際に、Yを入力しなくてもデータ送信可能。(エラーにならない。)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の”9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORがされているにも関わらず、”Y”表示が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	10件以下/月
R03-042	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の”9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先空欄でもデータ送信可能。(Yは表示されるが、ターミナルに通知されない?)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の”9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	10件以下/月
R03-043	貨物	DOR	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	TOP画面の検索文字列からB/L検索して通知先を確認しているが、最新で行った業務コードが表示される為、ICGが表示された場合、再度、DORを探して確認している。ただし、送信者端末でのみ検索可能の為、DOR処理を行った担当者しか確認できない。	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	・通知先を表示させることで確認作業の軽減、時間短縮 ・船社IDを持つメンバーが通知先を閲覧できることで処理担当者が不在でも処理状況確認可能	101~1000件/月
R03-044	貨物	DOR	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	DORした一画面ごとにBL件数を確認し、当日のDOR処理件数と手書類の処理の一致を確認している。	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	担当者自身で認識しているBL処理件数との一致確認が容易になる。	1001件以上/月
R03-045	貨物	DOR	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	10件纏めて再DORを行う際、1BLずつBL No. 及び通知先を入力している。	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	入力・貼り付けミスの軽減。時間短縮。	1001件以上/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-046	貨物	ECR	印刷プレビューにて払い出された貨物管理番号のコピー機能の追加	現在ECRを登録すると送信電文として受信されるが、印刷することが前提となっており貨物管理番号を受信結果からコピーできない。	印刷プレビューにて払い出されたECRの受信結果から貨物管理番号をコピーできる機能を追加して欲しい。	にEDB・ACL等へ展開する際に貨物管理番号をコピーできればペーパーレス化・リモートワーク化に対応しやすい為。	101~1000件/月
R03-047	貨物	ECR	ECRの船会社欄に混載貨物用船会社コードを入力可能にしてほしい	ブランク、9999	混載貨物時、船会社が分からないことが多い		11~100件/月
R03-048	貨物	EDC	輸出許可となった場合の出力情報出力先の見直し	輸出許可となった場合、許可・承認貨物（輸出）情報は、通関蔵置場所とバンニング場所へ出力される。また、通関蔵置場所兼バンニング場所には通関蔵置場所のみ出力される設定である。 通関業者が、バンニング場所に、保税地域コードを入力した場合、バンニングをした保税蔵置場へ帳票が出力され、保税用管理資料（G02）に反映しない帳票のみ出力されている。	バンニングである蔵置場では、保税上の記帳義務はなく、当該許可・承認貨物（輸出）情報を保存しないものと思いますので、輸出許可となった場合の出力情報出力先を、通関蔵置場所のみに見直して頂きたい。	保税貨物管理上、紙の出力がなくなり、適正に運用できる。	11~100件/月
R03-049	貨物	EDC, EAC	ECRで登録された貨物重量とEDC, EAC等で申告・訂正した貨物重量が異なった場合、保税蔵置場では輸出許可書上の貨物重量が変更されたことが分からない。通関上で必要な重量訂正は保税上も必要な重量訂正の可能性も有り、当初申告や許可変更で重量を訂正した場合は、保税蔵置場やバンニング場所へ帳票を出力し、NACCSのECRの貨物重量を上書きできないか。	EDCやEACの貨物重量とECRの貨物重量が異なっても、ECRは上書きされない。	現行の仕様では許可書上で貨物重量を訂正するのみでは、ECRの貨物重量は上書きされないため保税地域では重量変更がわからない。些細な訂正であれば問題ないのだが、保税管理上BIF等が必要な重大な訂正の場合もあるので、ECRで上書きされた貨物重量でBOCやVANなどの後続業務を行いたい。	適切な保税管理。	1001件以上/月
R03-050	貨物	EPK EAW	EPK、EAWのキャンセルコードのようなものを設置していただきたい。 (もしくはEPK、EAW後でも、ACH、PKG送信実施可能としていただきたい。)	EPK、EAW処理後、当該便に対して追加搬入するものがある場合は、CAW(AWB情報訂正)、CPK(貨物確認情報訂正)にて処理を行っているが、EPK、EAWのキャンセルコードのようなものがあれば、キャンセル後、再度ACH(AWB情報登録 輸入)、PKG(貨物情報確認登録)が可能となる。 (その後、再度EPK、EAW処理を実施する。)	弊社システムの兼ね合いもあるが、再度EPK、EAWのキャンセル後、再度ACH、PKGが可能であれば、CAW、CPK処理時のnet NACCSへの直接送信ではなく、ACH、PKG送信時の弊社システムからのI/Fが可能となる。(と思われる。) I/F不可であっても、従前よりCAW、CPK送信の頻度が少なく誤登録の可能性があるので、ACH、PKGにての情報登録を行いたい為。	誤申告の可能性及び処理負荷軽減	10件以下/月
R03-051	貨物	GOL	仮陸揚貨物 取扱いにおいて、航空会社業務 GOL と同様の業務をFWDRでも使用可能としてほしい。 ** 空港間 及び 港—空港間の 仮陸 (保税運送含)を簡素化してほしい	仮陸貨物において、空港間、港—空港間を跨ぐ場合 処理が煩雑、及び マニュアル申請が必要な場合が多い。	羽田空港着 — 成田空港発 (逆の場合も)の仮陸貨物においては、マニュアルでの仮陸届申請が必要。 また 海上港着 — 航空空港発の場合、多数の処理が必要になり、業務が煩雑	日本の空港を HUB空港として、アジアと欧米間の円滑な貨物輸送を実現する。	11~100件/月
R03-052	貨物	GOL	仮陸揚貨物 取扱いにおいて、航空会社業務 GOL と同様の業務をFWDRでも使用可能としてほしい。 ** 空港間 及び 港—空港間の 仮陸 (保税運送含)を簡素化してほしい	仮陸貨物において、空港間、港—空港間を跨ぐ場合 処理が煩雑、及び マニュアル申請が必要な場合が多い。	羽田空港着 — 成田空港発 (逆の場合も)の仮陸貨物においては、マニュアルでの仮陸届申請が必要。 また 海上港着 — 航空空港発の場合、多数の処理が必要になり、業務が煩雑	日本の空港を HUB空港として、アジアと欧米間の円滑な貨物輸送を実現する。	11~100件/月
R03-053	貨物	GOL GOL01	GOLにて任意の便に対して呼び出しを行った際、一回の操作で全件の申告を行える仕様としていただきたい。	呼び出し件数は1回につき最大で18件。18件以上ある場合は、GOLより再度呼び出しをかけ、GOL01より申告しなければならない。	呼び出し件数が最大18件となっているが、場合によっては18件を上回る件数に対して保税運送申告を行うことがある。現行の仕様において、18件以上の保税運送申告を行う際は、複数回にわたってGOLより呼び出しをかけ、保税運送申告を実施する必要があり、1回の呼び出しで全件を申告できる仕様としていただきたい。 例えば、1回の申告で全件の申告が可能になる、1回目の申告後、未申告分が自動的に画面展開する等。	・申告漏れ防止 ・重複作業の削減	10件以下/月
R03-054	貨物	HCH	HCH時における到着便名の入力	HCHにおいて到着便名の入力が必須である	上屋側においてFLT情報を入力している(又は先行入力後にFLT変更となった際は上書きされる)ことから、HCH時の到着便名の入力を省略出来ないか	HCH入力の効率化、時間短縮	101~1000件/月
R03-055	貨物	HCH	分割到着時のHCH入力	分割到着時、上屋側で先行HPK入力済みの際に到着便毎にHAWB情報を入力しなければならない。	上屋側において分割毎に到着便・数量等の情報を入力していることから、HCHは1回の入力と出来ないか	HCH入力の効率化、時間短縮	10件以下/月
R03-056	貨物	HHC/HHCOW/HKA	保険料率登録可能数を拡大してほしい。	異なる保険料率のものは枝番5つまで入力可能。	荷主で貨物種類が多く、5つ以上の料率を登録されたいケースがあるため。	包括申請番号が複数に分かれず、管理の煩雑化を防ぐことが可能になる。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-057	貨物	HPK	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない場合でも2ND以降のHPKが送信されるようにして頂きたい。	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない場合においては2ND以降のHPKが送信されない。	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない場合でも2ND以降のHPKが送信されるようにして頂きたい。	貨物がSPLITして全量到着している場合であっても、HCHが入力されていない事が原因でHPKが出来ない為、代理店のHCH入力が入力されている事を弊社で日々確認しなければならない為。 また、一部の代理店の方においては当仕組みを知らない方もいる為、MAWBIはNACCS上全量到着しているのに何故HAWBIはNACCS上突合されていないのか？という問い合わせがあり、都度説明しなければならず、弊社⇔一部の代理店の方において手間となってしまう。	10件以下/月
R03-058	貨物	ICG	混載貨物のICG照会画面	照会画面に「FREE TIME」・「RE-MARK」が記事欄に記載されている。	照会画面に「FREE TIME」・「RE-MARK」を設けてほしい。	社内システムに展開させたい。	
R03-059	貨物	ICG	税関手続き進捗状況がわかる様にしてほしい	現在は申告種別、申告番号、申告日、審査終了日、許可日のみ	I AWと同様に、申告時間、許可時間等を時間単位にて進捗状況を知りたい	申告時間、許可時間が早い遅いかの判断基準がわからない。	10件以下/月
R03-060	貨物	ICG	画面内のスクロール柔軟化	ポインタが1行より多い表示空間に入るとスクロールが止まってしまう。	どこにポインタがあってもスクロールできるようにしてほしい。	画面の閲覧を迅速にできる。	101~1000件/月
R03-061	貨物	ICG	出力コードのヘルプ情報の表示	「更新業務」「貨物状況」「事故」などの欄に「ATD」「M/F」「CHAFF」などコードが表示されるが、コード表で検索しないと内容がわからない	出力コード(「ATD」や「M/F」など)の入っている枠内をクリックすると左の入力項目ガイド欄に内容説明が表示される/右クリックして内容表示を選べる、などしてほしい。	迅速・正確な確認ができ、業務の効率化が図れる。	10件以下/月
R03-062	貨物	ICG	税関手続き進捗状況がわかる様にしてほしい	現在は申告種別、申告番号、申告日、審査終了日、許可日のみ	I AWと同様に、申告時間、許可時間等を時間単位にて進捗状況を知りたい	申告時間、許可時間が早い遅いかの判断基準がわからない。	10件以下/月
R03-063	貨物	ICG	経由地でのVAN等未実施	経由地VANの場合、経由地で乙仲がVANが行われないと、搬入先のCYでICGを行えず、パンニング状況を確認できない。	経由地が登録されている場合であっても、搬入先のCYでICGできるようにしてほしい	貨物情報をより速いタイミングで確認できるようになる。	
R03-064	貨物	ICG	以前も記入したが、業務リンクから変更画面へのリンクをお願いしたい。	業務リンクは参照画面が主。	例えば許可承認番号より「SOT」画面へのリンクがあれば活用の幅が広がる。	作業の軽減、効率を上げるため。また誤入力などを防止。	11~100件/月
R03-065	貨物	ICG	ICG画面でも「荷渡地」を表示していただきたい。	船卸港の表示はあるが、荷渡地の表記はない。	例えば、船卸港がTY0・荷渡地がYOKの場合、ICGでは船卸港のTY0のみ反映されているので、荷渡地をすぐに確認できない。(CMF11やCMF12で確認している)	作業の軽減、効率を上げるため。	11~100件/月
R03-066	貨物	ICG TTL	貨物情報にコンテナサイズの記載を入れてほしい。	貨物情報にコンテナサイズの記載がない。	貨物の詳細が知りたい。	貨物情報を見た時に、貨物の特徴が分かるから。	
R03-067	貨物	ICG、ICN	輸出コンテナのCY0搬入先入力ミス	輸出コンテナを船積の都合で、別CYに保税運送されてくることがある。その際に、発送元のCYにて、CY0で搬入先を入力ミスする可能性がある。その場合、搬入先でCYAを行うまでの間、ICG、ICNで「許可・承認状況」を確認できない。	誤った搬入先に向けてCY0が行われた場合であっても、ICG、ICNで「許可・承認状況」を確認できるようにしてほしい。	貨物情報をより速いタイミングで確認できるようになる。	
R03-068	貨物	ICI	ICIの積出港に、ECR(貨物情報DB)も参照してほしい。	ECRは海貨・通関担当が、VAN/VAEは保税蔵置場担当がそれぞれ行なうため、輸出貨物の受地港と(本船への)積地港が異なるようなケースでは、保税蔵置場担当がこれを必ずしも正しく認識できず、積出港に受地港を入力してしまうケースがある。ICI業務では積出港コードの入力が必須であるが、このような時に確認したい情報が一度で検索できず、複数回実施したり、ICN業務で輸出申告上の積出港が問題ないかどうかを確認している。この手間を軽減するために、・ICIの積出港に、VAN/VAE(コンテナ情報DB)だけではなくECR(貨物情報DB)も参照し、その結果を表示してほしい。・もしくは積出港を入力必須から外す(現状ではCY以外は入力必須)、ないし複数(最大3つ程度)の港コードを入力可能として欲しい。	ICIの積出港に、VAN/VAE(コンテナ情報DB)だけではなくECR(貨物情報DB)も参照してほしい。もしくは積出港を入力必須から外すか、複数港コードを入力可能として欲しい。	確認したい情報が一度で検索できず、複数回実施したり、ICN業務で輸出申告上の積出港が問題ないかどうかを確認する手間の削減。	10件以下/月
R03-069	貨物	ICN	コンテナ番号の情報に貨物管理番号も載せてほしい。	コンテナ番号(ICN)の情報に貨物管理番号の記載がない。	コンテナ番号(ICN)の情報に貨物管理番号が乗せてあれば、業務上便利だと思う。	スマートに業務をこなすことができる。	
R03-070	貨物	IDB, IDC	BND搬入済み貨物の情報共有	B/L番号でBND済みであってもIDB, IDC業務ではその他の貨物情報を書きたくない。手動で貨物情報を書きしている	BND貨物はIDBまたはIDCで貨物情報を自動的に書き込んでほしい。	審査済み貨物の搬入時自動申告の起動業務を拡大して、敏速な許可をする。	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-071	貨物	IDC	特例輸入申告日以降の入港年月日の処理	特例輸入申告は輸入港到着前に行うことが可能であるにもかかわらず、入港年月日を申告時より未来日で入力した場合エラーとなる。(エラーコード：E0147)	特例申告等の場合、入港年月日を入港予定年月日に変更し、未来日の入力を有効として頂きたい。		
R03-072	貨物	IM, BOA, BIA	蔵入承認後の貨物情報をシステム化	蔵入承認後の貨物情報が、システム外となる為、管理資料電文に反映されず、搬出・搬入業務及び保税台帳業務がマニュアル処理となる。	IDA(SID)の蔵入承認後、移入承認した貨物情報がマニュアル化される事なく、貨物情報を継続して使用できる事を要望	保税台帳記帳業務において、税関窓口での書面によるマニュアル処理等が不要となり、管理資料電文を使用した記帳業務を行う事ができる。	10件以下/月
R03-073	貨物	IMA		IMAを印刷した場合、ページ数が多くなると1ページ目の印刷が2枚にまたがる。紙の無駄になるので1ページ、1枚の印刷にまとめてもらいたい。		紙の無駄になる	11~100件/月
R03-074	貨物	IMI	REFコンテナ温度情報の取得	現行のNACCSに温度情報がない為、M/F情報を取得するIMI業務で取得できない。	REFコンテナ温度情報は、CYには必要な情報であるが、データ量が多い場合、M/Fからの転記作業となり時間がかかる。	NACCSからREFコンテナ温度情報が入手できない場合は、M/Fからの転記作業となってしまうため。	10件以下/月
R03-075	貨物	IMI-C	空バンと実入りバンを区別、かつ本揚げ、仮陸揚げを区別して表示(抽出)出来るようにして欲しい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在は空/実の全てが表示され、ソートも不可能。	空バンにおいて、23>28(本揚げ>仮陸揚げ)へ変更する機会が多く、IMI-Cの画面で空バン、かつ仮陸揚げの本数を特化して確認したい。	誤登録防止、W-CHECK時の時短、効率UP。 右事象発生頻度：件数は11~100件/月としたが、コンテナ本数ベースでは101~1000本/月の発生頻度。	11~100件/月
R03-076	貨物	IMI-T	包括削除をまとめて行えるようにしたい。	CMF11及びCMF12で呼び出して包括保税運送番号、運送具、到着地の保税地コードをマニュアルで消している。	IMI-Tの照会画面でチェックボックスを追加し、チェックを入れたものは包括保税運送番号等を消せるようにしたい。	1件ずつCMF11またはCMF12で呼び出す手間がなくなる。件数が多くても、一括で処理出来る為、効率UP、作業時間、人員の削減となる。	101~1000件/月
R03-077	貨物	IMI-T	到着地CODEが表示されるようにして欲しい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在はB/L NO, 包括保税輸送承認番号のみがリストアップされる。	現在の表示に加え、到着地CODEが表示されるようにして欲しい。(同一包括保税輸送番号でありながら、異なる到着地CODEの場合があり、IMI-Tの画面上で確認出来るようにしたい)	誤登録防止、W-CHECK時の時短、効率UP。	11~100件/月
R03-078	貨物	IWH	IWH	<毎日使用> ・IWHリストにおいて、貨物種別Aの搬入年月日が空欄となる。 ・仮陸揚期間に対するアラート表示機能を持たない。 ・一画面での表示件数は20件であり複数画面の展開を必要とする。	<保税蔵置場> ・IWHリストにおいて、貨物種別を問わず搬入年月日を表示させる。 ・仮陸揚期間が近づいているものに対してのアラートを表示させる。 ・一画面での表示可能件数を増やし、一度の画面展開で情報閲覧可能とさせる。	搬入年月日が表示されない貨物に対して個別にIGS検索を実施しているため、業務効率化となる。	
R03-079	貨物	IWH	搬入年月日 仮陸揚貨物の搬入年月日は到着蔵置場が異なる場合、反映がされないが、到着蔵置場に関わらず、仮陸揚開始日を搬入年月日へ反映させてほしい。	毎日行なう全社を対象にした上屋貨物インベントリで使用。 搬入年月日のバンクになっている場合(別上屋からのTRSF貨物)、IGS画面(KARI情報)を展開して仮陸揚げ開始時期を確認している。	仮陸揚貨物の搬入年月日は到着蔵置場が異なる場合、反映がされないが、到着蔵置場に関わらず、仮陸揚開始日を搬入年月日へ反映させてほしい。	要望が叶えばIWH画面のみでインベントリ作業を行なうことが可能になり、1件毎に画面を展開する作業工数、及び費用削減に効果がある。	101~1000件/月
R03-080	貨物	IWH	個数 CLAIにて一部個数を搭載完了した場合に、残個数が正しく反映されない(全量個数のまま)ことがあり、反映させてほしい。	毎日行なう全社を対象にした上屋貨物インベントリで使用。 実インベントリ個数とIWH画面の個数に差異がある場合、IGS画面を展開して一部搭載済であるか確認している。	CLAIにて一部個数を搭載完了した場合に、残個数が正しく反映されない(全量個数のまま)ことがあり、反映させてほしい。	要望が叶えばIWH画面のみでインベントリ作業を行なうことが可能になり、1件毎に画面を展開する作業工数、及び費用削減に効果がある。	101~1000件/月
R03-081	貨物	IWS		日々、IWSを出力し搬入登録済みで未搬出貨物情報をチェックしている。	IWS(貨物在庫状況照会情報) 輸出の欄に出港予定年月日を追加してほしい。	出港予定年月日の記載がある事で、搬出登録漏れ(VAN, BOC漏れ)の貨物情報を絞れる。	
R03-082	貨物	IWS	在庫情報への項目追加	輸入許可が下りた情報は土日祝を除く14日後に在庫から削除されるが、いつ削除されるか分かりにくい。	輸入許可が下りた情報は土日祝を除く14日後に在庫から削除されるが、一目でいつ削除されるか分かるように表示してほしい。	在庫チェックの際、分かりやすいようにする為。	11~100件/月
R03-083	貨物	IWS	参照出来る情報を増やしてほしい。エクセルなど編集可能なファイル出力がほしい。	現在の仕様では保税地域単位でしか出力できない。コンテナ一覧表のみ参照できる。	保税地域コード別の情報参照を本船単位での情報参照を可能にしたい。また、コンテナ情報に貨物管理番号、搬入からの日数も併せて参照したい	長期貨物を週単位で管理できる為。お客様からの誤送信などによる不要なデータなどに早期対処できる為。イレギュラー(マニュアル対応)時のデータを週報と併せてデータの保管が可能となるため	10件以下/月
R03-084	貨物	IWS/ICI	システム仕様の変更	BIC後のBULK貨物の蔵置はIWSでのみ抽出	ICIでコンテナとbulkを本船単位で呼び出しができるよう紹介種別の追加	船積完了処理の際、送信件数が把握でき送信漏れや誤送信を防げる	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-085	貨物	LOA01	HCHが入力されているMAWBであっても、LOA01にてSPCコードの登録/削除出来るようにして頂きたい。	HCHが入力されているMAWBであれば、HCHを一度消して頂かないと、LOA01にてSPCコードの登録/削除が出来ない。	HCHが入力されているMAWBであっても、LOA01にてSPCコードの登録/削除出来るようにして頂きたい。	検査疑義貨物でHOLDしている貨物が、検査対象貨物と判明した場合に、LOA01にてSPCコードを登録する際に、MAWB上にHCHが入力されている場合は代理店へ一度HCHを削除依頼をしなければならず、弊社⇄代理店どちらにとっても手間となっている為。LOA01でなくCAI01 輸入貨物情報変更登録でも変更は可能であるが、必ずCAI保留となってしまう、NACCS変更願届を税関へ提出しなければならず、弊社⇄税関にてどちらにとっても手間となってしまう為。	10件以下/月
R03-086	貨物	MFR	REF コンテナ温度情報の登録	現在のMFR業務で登録している内容にはREFコンテナの温度設定情報がない。	REFコンテナ温度情報は、CYには必要な情報であるが、NACCSに温度項目が存在しない為。	NACCSに登録できない場合は、担当者がREF温度情報をM/Fからの転記作業となってしまうため。	10件以下/月
R03-087	貨物	MHO	MHO業務の失念対策	MHO業務の期限内登録を失念した場合、そのまま保税管理資料として出力される。	MHO業務の期限内登録の失念があった場合、期限の前々日までにユーザーへ警告のメールを自動配信して欲しい。	MHO業務の登録もれは、保税非違として処分対象となることから、事前警告のメールを自動配信することにより、保税非違を減少させることができる。	10件以下/月
R03-088	貨物	MSX	申告添付資料容量アップ	数年前に3MBから10MBに容量アップしており、通常の申告では問題ありませんが、減免税申告時、添付資料も多く、10MBにおさめるのが大変なケースがある。	10MB以上の容量アップは可能か。	減免税申告時、添付資料も多く、10MBにおさめるのが大変なケースがある。	11~100件/月
R03-089	貨物	NVC01	「使用可能なコード入力」の対象となっている利用運送事業者コードの変更を受け付けていただきたい。	「使用可能なコード入力」となっており、ハウスB/L番号で登録するとエラーとなることから、先頭に登録済みコード加えて処理している。	登録済み利用運送事業者コードの変更を受け付けていただきたい。 登録済みコード：〇〇 変更：XXX(SCACコード) * NMFTA : National Motor Freight Traffic Association (全米自動車貨物輸送協会) * SCAC : Standard Carrier Alpha Code (米国における運送会社識別コード)	ハウスB/L番号に手を加えることなく適正な処理ができる(情物一致のため必要)。 7. 発生の頻度は当社取扱い保税蔵置場での件数となります。	10件以下/月
R03-090	貨物	OLC OLA	OLA, OLCの積込港のチェックは外してほしい	保税運送の積込港チェックがあるため、積込港を正しく入力できない、例えばシアトル発の釜山トランシップの貨物の場合、OLCの積込港はシアトルを入力したいが、船社のMFR登録の積込港が釜山なので釜山を入力しないとエラーになり、シアトルを入力できない。	OLCの積込港は貨物情報とのチェックがあり、船社のMFR登録の積込港と異なる場合、OLCでエラーになる。正しい積出港でOLC申請するためには、船社および搬入蔵置場で訂正業務を行う必要がある。輸入申告同様積込港のチェックはせず、OLT申請者側で積出港を自由に入力できるようにしてほしい	蔵置場や船会社に積込港の訂正を依頼することなく、正しい積出港でOLT申請できるようにする?	11~100件/月
R03-091	貨物	OLCなど	保税運送申告書の申告番号の表示を方法の改善	保税運送承認書に打出される申告番号は、11桁の数字がつながっているため目で確認する際に非常に見づらく間違えて確認することがある	保税運送申告書の申告番号の表示を輸出入許可書と同様の3-4-4の区切りで間にスペースを入れてもらえるとう非常に整理がしやすくなる。	通関業の台帳(保税運送)の作成や、輸入申告の際のOLT番号を入力する際の間違えも少なくなる。	101~1000件/月
R03-092	貨物	OVS	「訂正」業務の追加	訂正が行えない。 訂正が発生した場合、システムでの再申請は出来ず、マニュアルで書面での提出が必要。	NACCSでの「訂正」業務の追加	パス繰りや本船動静により、使用岸壁や時間に変更が発生した場合に迅速な手続きが可能となる。またコロナ対策、ペーパーレスの推進にも繋がる為。	10件以下/月
R03-093	貨物	PUO	再送防止機能の実装	送信後、業務メッセージ欄に「COMPLETE」が出て再送可能になっているため、F12を押すと何度でも送信されてしまう。	再送防止機能を付けて欲しい。当該業務は、照会業務ではなく”情報登録”業務なため、1送信1返信後は他の登録業務同様の仕様変更を希望する。	誤送信・誤課金の防止、誤課金による搬出時の料金訂正工数の削減	10件以下/月
R03-094	貨物	RSS	RSS業務をRSS実施済みであっても行えるようにしてほしい	船会社の引渡場所都合によるOLTでドレー(RSS1回目)し、OLT後の搬入先CYへ通関業者等が搬出依頼(RSS2回目)するとき2回目ができない(デバンせずコンテナ詰めのまま)	RSS実施済みであっても、後続CYで再度RSSできるようにしてほしい	利便性が向上する。	
R03-095	貨物	RSS01	輸入コンテナ引取予定ID確認情報 出力の際の表示内容	貨物引き渡し番号、コンテナ番号、フリータイムなど必要最低限の表示	現在の内容に加えて、コンテナサイズ、タイプ、貨物状況、荷渡可能表示を追加で表示してほしい。	理由として、輸入コンテナ引取予定ID確認情報を受信した際に改めて貨物情報を確認しなくてもコンテナ引取可能かが一目で確認できる。	101~1000件/月
R03-096	貨物	SHS	貨物の仕分け欄数を増やしてほしい。	現在貨物の仕分け欄は、20までです。	貨物の仕分け桁数を増やしてほしい。	スマートに業務をこなすことが出来る。	

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-097	貨物	VAC	VACにおいて複数コンテナを一括で削除する機能が欲しい。	VAE業務で複数登録したコンテナを一括で削除する業務がない。複数コンテナをVAEにおいて登録し、その後キャンセルとなった場合、登録は複数コンテナを同時にできるのに削除はVACをコンテナの数だけ繰り返さなければいけないのは極めて煩わしい。またVAN11において1コンテナにおいて複数の申告を紐づける場合もキャンセル時に申告の数だけVACを行わなければならないのは同様の理由で不便である。			
R03-098	貨物	VAE	VAE入力時情報	VAE入力時に 船名 VOYAGE など ECR入力時と重なる情報がある為、ECR情報でVAE入力時に重なる部分は、反映されるようになれば良いと思います。			
R03-099	貨物	VAE11	内容確認メッセージの表示	バンニング情報を登録する際、ECRの情報と相違があっても進んでしまう。	バンニング情報を登録する際、ECRの情報と相違がある場合は、内容確認メッセージが出るようにしてほしい。	入力ミスをなくすため。	101~1000件/月
R03-100	貨物	VAN、BOCなど	搬出業務において、送信時のエラー処理の設定変更	同じ貨物管理番号において、搬出日が、BIC処理時の搬入日より前の日付で入力しても送信可能になっている。	左記内容の場合は、エラー処理とし、送信不可にして頂きたい。	入力ミスを防ぐ為。	10件以下/月
R03-101	貨物	すべて	印刷機能にPDF化を追加	紙印刷	PDFへファイルとして保存。ファイル名に社内管理番号を付けられるようにする。社内管理番号を付けることはすべての帳票に対して社内管理番号の入力と印刷ができるようにしてほしい	デジタル化の促進 ペーパーレス化の促進	
R03-102	貨物	すべて	全ての帳票にバーコードの印刷を行う事で現場作業等でのシステムへの入力を軽減する	帳票を見ながら各システムに管理番号で呼び出してデータやステータスを入力する	バーコード印刷 バーコードには社内管理番号とNACCS管理番号の情報をセット	紙で行われている現場作業のステータス管理等に利用できる。イメージは宅急便のステータス管理等のような業務の省力化	
R03-103	貨物	すべて	CyberPortシステムとの完全なデータ連携	部分的な連携はユーザーの負担となる	例えばNACCSの輸出VAN情報にCyberPortに必要な情報を網羅する事で後はNACCSとCyberPortが連携してくれればユーザーは1回の作業ですべてが終わるような事を考えてほしい	港・空港の情報は一元管理できないとシステムが複雑になり、効率が悪くコストも増えていく。いつまでも「国民のことは国民で」と言っていると他国に遅れをとる	
R03-104	貨物	現行なし	保税運送中に動物検疫を実施する際、保税蔵置場（CY）からの搬出停止を表示する（CYOできない設定）機能を新設	保税運送中に動物検疫を実施する際（OLT上は、検疫場所として経由地が記載されている）、保税運送を行う業者と動物検疫を申請している業者が別の場合、動物動物検疫を実施する前に保税運送を行う業者が搬出してしまった事例があった。 貨物は、横浜港揚げ、苫小牧港経由、札幌の保税蔵置場搬入の羊肉で、保税運送申告は、船会社の代理店が行い、代理店が手配した運送業者が、実際の運送を行った。動物検疫の申請、検査対応は当社が行い、経由する苫小牧港のCYで、検査等を受けることで、動物検疫の了解を得ていた。当社からは、保税運送を申請した代理店に苫小牧港で動物検疫を受けることとなっているため、動物検疫が終了するまで搬出しないう連絡していたが、実際に運送する輸送業者には伝わっていませんでした。苫小牧のCYでは、特段、何もないので搬出（CYO）した。	保税運送中に動物検疫を含め、他法令の検査がある場合は、検査が終了し、合格証等の他法令の許可・承認書が発行されるまでは、税関のSTPのような差止表示ができるようにすれば、関連する業者が多い場合でも、誤った行為を防止できるようになると思われる。	NACCSでは、税関に関する申請等と貨物の動向はつながっているが、他法令については、申請のみの電子化で、実際の貨物の動向はマニュアルのままである事から発生したと考えられる。 他法令についても、貨物を差し止めるなどの業務がある事（他官庁が行う）により、誤った事態が発生しにくくなる。 かつ、関係先への連絡が、NACCSによりできることになり、かなりの省力化となる。	11~100件/月
R03-105	貨物		許可確認業務	日にちを指定しその日、輸出許可となった許可情報を一覧できる業務はあるかと思いますが、日にち指定ではなく、airwaybill番号を連続して入力し、その入力したairwaybill番号が輸出許可となっているかを一覧で確認できる業務を作っていただきたいです。IGS業務では1件ごと確認はできると思いますが、一覧で確認したい為。理由は、輸出許可は切れるものの搭載日はまちまちです。ですので、例えば、本日仕立て=明日搭載分が確実に許可になっているかを、夕方、airwaybill番号を打ち込み、一度に確認したい為です。			

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-106	貨物		輸出貨物搬出入データへの金額情報の追加要望	現在、保税蔵置場用に活用している輸出貨物搬出入データにFOB金額の情報を追加して配信して頂けると、保税工場の台帳としても活用できるのでお願いしたい。*保税工場の台帳は貨物の金額も記帳項目となっている為、現在の輸出貨物搬出入データを保税台帳として活用できない為。もしも、当該要望が叶えば、保税工場のNACCS加入も飛躍的に増加すると予想します。			
R03-107	貨物		NACCSをMacでも使えるようにして欲しい。使えなくて大変困ってます。	Windowsのみしか使えないようになっています。	NACCSをMacでも使えるようにして欲しい。使えなくて大変困ってます。利用登録まではMacでもできてデジタル証明書の取得ができません。これだけMacユーザーから「MacでもNACCSを使えるようにして欲しい」という問い合わせが来ている中で、なぜ貿易という国の一大事業を背負っているNACCSセンターが、Macに対応するつもりがないのかさっぱりわかりません。早急に対応をお願いします。	コロナ禍における巣ごもり消費・在宅勤務の増加でEコマース事業はこれからますます拡大の方向に向かいます。メイドインジャパンは海外ユーザーから高い人気を誇っており、日本に旅行に行きたくても行けない海外観光客が日本製品を買うためにオンラインショップ（越境EC）を頻繁に利用しています。人口減少、国内消費の鈍化で陰りを見せる小売業界を救う救世主として注目を浴びる越境EC事業は世界各国のIT企業がこぞって参画しているビジネスフィールドでもあります。この市場の高まりを逃す手はありません。IT企業はほとんどと言っていいほどMacユーザーです。（そもそもWindows使っているの日本くらいなのでは？）そういったIT企業を始めとするMacユーザーに門戸を開くことによりますます日本の貿易事業は発展するでしょう。今はオンラインで貿易取引をする時代です。NACCSを利用できるOSに制限を設けるのは間違いなく貿易発展の阻害要因になりますので是非ともMacでもNACCSを使用できるようにプログラム変更をお願いいたします。	11~100件/月
R03-108	貨物		CONPASとの連携	未定	全てのターミナルで、仕様、運用を統一する必要があります。	中途半端な運用だと、ケースバイケースで処理の方法が異なり、ユーザ負担、混乱を招くことになる	
R03-109	貨物		汎用申請について、現状、他所蔵置貨物の積みリスト申請がNACCS汎用申請の項目にない	マニュアル申請のみとなり、税関へ用紙を提出	NACCS汎用申請で実施したい	税関への移動時間（往復1時間）を削減したい	10件以下/月
R03-110	貨物		保税管理資料のユーザーへの自動配信	保税管理資料については毎週ユーザーが取出し業務を行い、保存している。	保税管理資料は毎週、システムからユーザー宛自動配信する方法に変更して欲しい。	保税管理資料の取得、保存もれが、即、税関から非違とされ処分対象となることから、自動配信により取得もれを防止でき、保税非違を減少させることができる。	10件以下/月
R03-111	貨物			①NACCS EDI電文にて授受している。 ②SMTPを利用したデータの授受をしている。 ③運転状況メール配信サービスの推奨環境がMicrosoft Internet Explorer 11となっている。	①FWB/FHL/FFMといったIATA標準のMSG/XMLへの準拠を希望いたします。 ②MQでのデータ交換を行う。 ③運転状況メール配信サービスのChrome対応	①IATA標準の形式に準拠されることでシステム間の情報連携が簡易になり、各航空会社側で特別な機能の作り込みが不要になる。 ②データ量制限の緩和や通信料の低減化、メッセージの監視機能を取り入れられる可能性がある ③IE11のサポート終了を見据えた事前の対応をするとともに、Chromeでの利用を可能とすることで利便性向上につながる。	
R03-112	貨物		海上貨物から航空貨物への切替時の仕様変更	CY等からCHG業務を行わずに搬出された場合、受け側の倉庫ではBIA業務を行い、汎用申請で海上貨物のデータ削除を依頼している。 合わせて、Air-NACCSにてBII業務を行い航空貨物として搬出を行っている。	CHG業務を行わずに搬出された場合でも受け側の倉庫で航空貨物に切替を行って搬入確認ができるようにしていただきたい。	航空貨物取扱倉庫側での業務簡素化が見込まれる。 (情報確認や汎用申請等の時間削減)	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-113	貨物		保税管理資料での出力情報の改善	保税台帳に許可年月日が出力しない場合がある。その場合、搬出入に関わる書類を紙で保管したり、手入力で管理しているため、運用が煩雑となっている。 税関には特に指摘はされていない。	税関手続き種別がTEKなどの場合は、許可年月日が出るようにしてほしい。	保税台帳に関するマニュアル処理が減り、より適切な管理が行えるようになる。	
R03-114	通関	(全業務)特にIDA・EDAでお願いしたい。	ワーニング情報が出る場合、送信される前に確認したい。	NACCSIには有益なワーニングが多数出ており、6次NACCS更改においてもワーニングの内容充実が図られている。 輸出入申告等は入力控作成者と審査担当者が異なり、ワーニング内容が伝達されない為、重大な非違・誤謬・申告撤回・取消の発生に繋がっている。	送信(申告)時にワーニングが出ても申告撤回や、取消業務が発生してしまう場合がある。 ワーニングが出る場合は、1回目の送信時に申告はされず、ワーニングのみ表示され『本当に申告しますか?』と確認のメッセージが表示され『はい』か『いいえ』で確認する仕様としてほしい。 また、ワーニングの内容を印字もしてほしい。	申告される前にワーニングが出れば、無用な取消・撤回業務も発生しない。また印字をすれば有益なワーニングを見逃したことによる申告時の非違・誤謬の発生を未然に防ぐ事ができる。	1001件以上/月
R03-115	通関	ACL01	禁則文字(特に"_"(アンダーバー))制限をなくしてほしい。	アンダーバーを含むメールアドレスをNOTIFY等にしたい時に必ずシステム外で訂正のやりとりをしている。船社によってはACL訂正にペナルティ(場合によっては別途費用が発生する)を課すところも増えており慎重な作業を要する業務でシステム起因により毎回訂正作業を行なうのは、ユーザー側にとって非常に大きなストレスとなっている。	禁則文字(特に"_"(アンダーバー))制限をなくしてほしい。	システム外で訂正のやりとりの削減。	10件以下/月
R03-116	通関	ACL01, VAE	双方の業務の共通項目の連動化	双方の業務で、個々に共通項目(コンテナ番号、シール番号等)を入力している。	貨物管理番号等で共通項目の連動化を図ることで、先に入力した内容がそのまま、生かされれば、二重入力は不要となる。	二重入力の回避と入力ミス及び確認行為の省略化	11~100件/月
R03-117	通関	AMA	修正申告履歴のアラート表示できる仕様	現在お客様により若しくは社内管理において確認出来れば過去のデータ呼び出せるが、二度目若しくは複数回修正申告をしている事に気づかない時は当初申告と今回の修正申告という事と捉えてしまう	ひとつの申告において修正申告の経歴があることをアラート表示をし、当初の修正内容を引用出来るようになると更にスムーズに適正な修正申告の対応が可能になる。	履歴が判明することにより、税関からも指摘を受けず、事前に顧客と話し合い正しく修正申告が実施できる。また税関との往復時間も短縮でき、二度手間にならない。	10件以下/月
R03-118	通関	AMA	以前に修正申告をした経歴があるかをアラート表示	以前1度修正した申告であっても、気付かなければ当初申告のデータに修正を加えることになる	当初申告番号、申告日、等ですでに修正申告の経歴があることをアラート表示。また以前の修正内容を引用可能。	複数回の修正申告を正しく行うため	10件以下/月
R03-119	通関	AMA	以前に修正申告をした経歴があるかをアラート表示	以前1度修正した申告であっても、気付かなければ当初申告のデータに修正を加えることになる	当初申告番号、申告日、等ですでに修正申告の経歴があることをアラート表示。また以前の修正内容を引用可能。	複数回の修正申告を正しく行うため	10件以下/月
R03-120	通関	AMC	AMC(修正申告本申告)業務で出力される関税修正申告控に延滞税額が表示されるように願います	関税修正申告控には記載されていない。	概要に記載の通り	ICD業務で別途確認しなければならない。	10件以下/月
R03-121	通関	CCA	同じ通関事業所でしか通関士審査が出来ないが、事業所をまたいで出来るようになるか。	U0016 入力者は申告予定者または申告可能者ではない	少数の通関士しかいない通関営業所の通関士審査を他の営業所の通関士が審査することで申告を進められないか		
R03-122	通関	CCA	入力済みの申告番号一覧を呼び出し、該当の申告番号に"Y"を入力する。一度の業務で複数申告番号に対してCCA業務を完了させる仕様に変更頂きたい。イメージとしては、IDIのような申告番号一覧画面から該当の申告番号に通関士審査済Y入力を行えるような仕様。	CCA業務コードより、申告番号、申告種別、通関士審査結果Yを入力している。入力手数が多	申告番号一覧より、該当の申告番号に通関士審査済Yを入力可能とする	作業工程の簡略化、業務効率化	1001件以上/月
R03-123	通関	CCA	申告内容変更すると再度CCAを行わなければならない。再度CCAを行わなければならない業務について検討して欲しい。	CCA後、1ヶ所でも内容変更があった場合、再度CCAが必要となる	申告日・他法令の共通管理等の通関士の再審査が必要ないと思われる業務については再度のCCAの必要が無いと思われる。通関士の審査が必要な場所と、そうでない場所を分けし、通関士審査が必要ない箇所は、再CCAを行わなくても良いように変更して欲しい。		1001件以上/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-124	通関	CCA	CCA（通関士審査結果登録 海上）業務の改善要望	せっかくCCA業務をしても、輸入貨物が搬入され倉庫で搬入確認した結果（タリーシート）から、申告内容の訂正を行う（マーク訂正、荷姿訂正、数量訂正、申告外物品（温度計や段ボールなど）等）ことが多く、通関士審査結果が無効となって再度CCA業務を行う仕様となっています。	①CCA業務を行った場合、何回も申告内容を訂正しても無効にしないよう要望します。再度CCA業務をしなくて済みますので在宅勤務等に特に効果が期待されます。 ②仮に、①が難しい場合、マーク及び荷姿については、入稿日同様に本申告するとシステムから補完される様に要望します。システムから補完されることにより通関士が申告内容の訂正を行わなくて済むため、再度CCA業務する回数が減少することが期待されます。		
R03-125	通関	CHS	CHSの取消業務を追加して欲しい	通関業者がCHSで仕分けした場合、通関業者で取消が出来ない	SHSの場合は、通関業者側で取消が可能となっているので、通関業者でCHSし、倉庫でのCFS前であればCHSを取消できるようにしてほしい。	仕分けの変更を行いたい場合、倉庫側へ依頼し変更してもらう必要が有る。SHS同様の仕様として欲しい。	11~100件/月
R03-126	通関	CKO	検査指定票出力フォームの改善要望。	文字が小さい為、運転手がコンテナ番号を確認しづらい。	文字を大きくして欲しい。検査日時とコンテナ番号だけでも（内容の部分）見やすくしてほしい。	老眼のトラック運転手が多いので、確認しやすくすれば間違いも防げ、受け渡しもスムーズになる。	
R03-127	通関	DLI02	自社通関以外の申告情報呼び出し	修正申告の入力の際にDLI02業務で申告情報を呼び出すことができるのは自社通関分のみである	修正申告の入力の際にDLI02業務で他者通関分の申告情報を呼び出すことができるようにしてほしい	他社通関分の修正申告を入力する場合はすべての項目を入力するという手間がかからなくなる	11~100件/月
R03-128	通関	DLI02	DLI02の仕様変更	複数件の当初申告を1件の修正申告に取り纏めて実施を希望されるケースが多いが、現行、一方をDLI02画面で展開し、他方は行コピー機能を用いて貼り付けていくしかない。	『当初輸入申告情報呼出し（修正申告）』において当初申告の情報を複数件呼出せる仕様に変更していただきたい。	一括修正申告の要望が多く、修正申告の入力作業が非常に手間取る。複数件を同時に呼出すことが可能になれば作業効率が図れる。	10件以下/月
R03-129	通関	DLI02	DLI02「当初輸入申告呼出し（修正申告）」業務の利用可能時間の拡大	DLI02「当初申告情報呼出し（修正申告）」依頼の登録により、システム内部で当初輸入申告情報呼出し処理が起動する仕様となっていて、10:00から18:45の間に10分間隔で行われ、18:45以降に登録した場合は、翌日に起動する仕様となっている。貨物の引取を急ぐ通常の輸入申告を優先する必要あり、修正申告に対応できる時間が18:45以降となってしまう、呼出し処理が翌日以降となってしまう場合が散見され、業務効率が低下する一因となっている。	例えば、9:00から20:00までの登録分について、当日の呼出し処理となる仕様への変更お願い致します。（可能な範囲で、当日の呼出し処理となる時間を拡大お願い致します）	修正申告の業務効率向上につながり、波及効果として翌日の通常の輸入申告についても業務効率の向上（申告までの時間短縮）及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	11~100件/月
R03-130	通関	EAA	変更識別（N:数量変更/S:船名変更）の訂正制限緩和	変更識別の「N」または「S」を選択し、1度NACCS送信すると申告前でも訂正が不可能になる。	NACCS送信しても申告前であれば訂正を可能にしてほしい。	変更識別を逆に入力しても申告前であれば訂正できる。	10件以下/月
R03-131	通関	EAB	変更理由コードの表示	NACCS掲示板で確認	入力項目ガイド欄に変更理由コードの一覧を表示	都度NACCS掲示板で確認する手間を省略できる。	10件以下/月
R03-132	通関	ECR	3. ECR→ECRの搬入予定日欄に過去の日付が入らず、搬入済のACTUALの日が入れない。	3. 現場からの報告のタイムラグで輸出貨物の搬入後にECR入力を行うことがあるが、過去の日付が入らないため実際の搬入日が入れない。	3. ECRの搬入日時は過去でも入れられるようにしてほしい。	3. 未来の日付しか入れられないのは現実的ではないため	10件以下/月
R03-133	通関	ECR11	ECR11 輸出者名再入力	法人番号と輸出者名が紐づいていない場合、ECR11を行うと輸出社名を再度入力する必要がある		再入力が必要になると業務効率が悪くなるため。	11~100件/月
R03-134	通関	ECR11 EDB	ECR11にてマークの変更後、輸出申告書にも自動的に反映させてほしい	ECR11にて変更後、EDBでマークを空白にしてマークの変更を反映させる必要がある	ECR11にてマークの変更後、輸出申告書にも自動的に反映させてほしい	輸出申告書に自動的に変更が反映されることで、申告内容のミスが減る	10件以下/月
R03-135	通関	EDA	輸出申告書作成時の仕入書価格欄の改善	「仕入書価格」の欄に建値FOB価格を入力した場合、下欄の「FOB価格」に金額を入れても登録できてしまう	「仕入書価格」の欄に建値FOB価格を入力した場合、下欄の「FOB価格」に金額を入力した場合はエラーで登録できないようにしてほしい	入力ミスによる非違の削減	
R03-136	通関	EDA	EDA業務におけるインボイス番号等の入力桁数の変更	NACCS EDA業務におけるインボイス番号等の入力欄は35桁しか入力出来ず、全て入力出来ないことが多々あります。	インボイス番号等の入力欄は35桁から50桁に変更して欲しい。	荷主が輸出許可書の管理がし易くなり、通関業者の適正申告にも繋がります。	10件以下/月
R03-137	通関	EDA	仕入れ書価格の通貨欄に複数の通貨コードを入力可能にして欲しいです。	複数の通貨をそれぞれ円価に換算するか、どちらか一方の通貨に合わせて換算し税関記事欄に明細を記載している。	輸出申告入力控えを作成する際、複数の通貨コードを入力可能にして欲しい。	手計算で換算し仕入れ書価格を算出するより、機械で計算する方が正確であり入力時間を短縮できる。	11~100件/月
R03-138	通関	EDA	欄の挿入。	欄の削除は可能だが挿入は不可	欄削除と同様に挿入も可能としてほしい	換算、HS変更により欄が増えた場合、計算書通り（価格の高い順）に申告書したい	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-139	通関	EDA	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB（海上の場合）で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に於いた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直さないような設定にしてほしい。	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB（海上の場合）で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に於いた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直している。	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB（海上の場合）で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に於いた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直さないような設定にしてほしい。	スマートに業務をこなすことができる。	
R03-140	通関	EDA	仕向人欄の国コードについて、空白であった場合はエラーになるか、エラーメッセージが表示されるようにしてほしい。	国コードが空白であっても何の警告もなく申告までできてしまう。	仕向人欄の国コードが空白であれば誤申告となるので、エラーになるか、エラーメッセージが表示されるようにしてほしい。	誤申告を防ぐことができる。	1001件以上/月
R03-141	通関	EDA	仕向人欄の国コードについて、国コード2桁を入力すれば、その右側に国名が自動に出るようにしてほしい。	国コード2桁のみ表示される。	国コード2桁ではどこの国かわからない場合があるので、「最終仕向地」欄のように国名を反映して表記されるようにしてほしい。	インドとインドネシアなど、国コード2桁ではどこの国かわからない場合がある。誤入力、誤申告を防ぐ効果がある。	1001件以上/月
R03-142	通関	EDA	輸出管理番号にダミー番号を用意してほしい。	ECRが入力されていないなど貨物情報がない場合、EDBを入力することができない。弊社では別貨物の貨物情報を仮データとして入力している。	G/Wが未確定などの理由でECRが入力されていない貨物について、先にEDBの入力、チェックができるようにしてほしい。	貨物情報入力されていない場合もEDBを入力、チェックすることができるようになり、業務の効率化につながる。	1001件以上/月
R03-143	通関	EDA	EDA, SEL（大額）とEDA, SES（少額）のフォーマットを統一してほしい。	EDA, SEL（大額）とEDA, SES（少額）ではフォーマットが違う。	EDA, SEL（大額）とEDA, SES（少額）フォーマットを統一してほしい。	過去データを反映させる形で入力作業をするとき、同じ実績で大額用と少額用を用意する必要がある。他にも大額⇄少額変換がスムーズにできた方が便利な場面が多々ある。	1001件以上/月
R03-144	通関	EDA	輸出許可貨物の併せ保税運送期間の拡大	7日間	1カ月へ延長	気象状況により併せ運送承認期間内に到着できない場合があるため。	10件以下/月
R03-145	通関	EDA	貨物重量（G/W）の項目削除	入力が必要となっているが必要性がないと思われる（マニュアル申告書なし）、AIR NACCSは項目なし	貨物重量（G/W）の項目削除	マニュアル申告書・輸出搬入確認登録（BIC・CYA）にG/W項目なし、許可後訂正項目の削減	
R03-146	通関	EDA	EDA事項登録の画面にある申告番号欄に不注意や誤操作によって予期せぬ申告番号等が入力できないようにする。	EDA画面を展開するとカーソルが「申告番号欄」に位置している。	初期に事項登録を行う場合には、「申告番号欄」に①カーソルを配置しない、②入力不可のいずれかとする。	不注意や誤操作によって予期せぬ申告番号が入力が入力された場合は、既に登録済みの申告内容が上書きされて別内容になり、通関上の事故につながる可能性がある。	10件以下/月
R03-147	通関	EDA	ショートカットキーの機能の追加	複数欄の申告で繰返部の入力を行う際、他法令以下の入力がない場合はBPR按分係数を入力した後にキーボードの「Tab」を連打して次の欄まで移動し順次入力している。	ショートカットキーの機能に、「次の欄へ移動する」機能を追加して頂きたい。	複数欄申告の際に次の欄への移動がスムーズになり、入力の効率化とミスの削減に繋がる。	11～100件/月
R03-148	通関	EDA	ショートカットキーの機能の追加	6欄以上の申告で繰返部の入力を行う際、5欄目を入力後6欄目に移る時はページが変わるため、「次に移動」ボタンをクリックしなければいけない。	ショートカットキーの機能に、「次のページへ移動する」機能を追加して頂きたい。	複数欄申告の際に次のページへの移動がスムーズになり、入力の効率化とミスの削減に繋がる。	11～100件/月
R03-149	通関	EDA	仕入書価格 FOB について	仕入書価格欄 FOB JPY 14,008,140 と入力し、FOB価格欄 JPY 13,307,733 価格が一致しないにもかかわらず、エラー対応無し。本件に於いては、建値 C&Fを誤って、FOBと入力した事例	仕入書価格-建値欄 FOB入力の場合、一行下段のFOB価格欄の金額に差異が生じた場合エラー扱いとして欲しい。	適正申告の確保・非違の削減	10件以下/月
R03-150	通関	EDA EDB EDC	日本製の大額と、統計計上除外のEのHS CODEが同じの場合、申告価格の箇所が合算表示になるがおかしいのではないかな	同左			
R03-151	通関	EDA EDC	EDA（事項登録）とEDC（申告控）のデータの配置を同じようにしてほしい。	「コンテナ本数」や「輸出者（入力）」など、入力画面と出力画面で配置場所が全然違う。	入力画面と出力画面で確認しやすいよう、基本的に同じ配列・順番で表示してほしい。	入力したものが、どこに出力されるのか、わかりにくいのでストレスを感じる。特に初心者に教える際に配列全然違っていると教えるのが難しい。	1001件以上/月
R03-152	通関	EDA EDC IDA IDC	「申告入力控」「許可通知書」及び「許可通知書兼控え」への申告関連帳票への申告/許可の『時刻』の表示を追加する。全業態（航空輸出、航空輸入、海上輸出、海上輸入）に対してを要望。	申告/許可日は帳票に表示があるが、申告/許可時刻の表示が無い為に、時刻を知る為には毎回NACCSで照会する必要がある。	申告/許可日に加えて『時刻』を帳票に追加する。	通関業者及び輸出者・輸入者においても申告/許可時刻の確認をする際、書類上で時刻の確認が可能になり、NACCS照会業務を利用する事無く、業務軽減に繋がる。申告/許可が年間各々約85万件。	1001件以上/月
R03-153	通関	EDA IDA	入力したN/Wの合計を確認できるようにしてほしい。	特になし	入力したN/Wの合計を確認できるようにしてほしい。	N/Wの数値を入力ミスしているかどうか検算できるようになり、ミスが減少する。	101～1000件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-154	通関	EDA01, EDE	輸出申告後、天候などの理由により搬入予定蔵置場所が官署を超えて発生した場合に、輸入同様変更できるようにしてほしい	官署を超えて蔵置場所が変更になる場合には、申告撤回を行い申告書を作り直し、新規で申告をし直す必要がある。	輸出でも予備申告ではないが、事前申告での処理を行っているものがほとんどであり、影響は輸入と変わらないので、導入を検討してほしい。		
R03-155	通関	EDB	内貨バンニングの際に複数のバンニング場所がある場合、2箇所目以降の入力欄がない為、増設して欲しい。	EDBの入力欄に複数のバンニング場所がない為、税関記事欄等に直接入力している。	内貨バンニングの際にバンニング場所の入力欄を増設して欲しい。	内貨バンニングの際に複数のバンニング場所で行うことがあり、専用の入力欄があると輸出許可書の記載が見やすくなる。	10件以下/月
R03-156	通関	EDC	コソボ共和国をNACCS申告の対象にしたい。	NACCS都市コードが適用されていない	NACCSで申告できるようにしてほしい	マニュアル申告は煩雑である	10件以下/月
R03-157	通関	EDC	EDC画面での価格再確認情報の表示	統計品目欄の価格レンジが外れている場合、エラーコードとして"W0005-0000-0000"が表示される。	該当欄の番号と"H"/"L"の表示をエラー番号の末尾もしくは別行に表示していただきたい。可能であれば価格レンジが何に対してどれだけ離れているかを確認できるようにしていただきたい。	EDC画面では"W0005-0000-0000"のみの表示の為、画面上価格レンジ外れが出ている事は確認できるが、どの欄で発生しているのかが一目でわかりにくい。また、価格レンジがどれほど離れているのか、何が誤りなのかの確認に時間を要している。	11~100件/月
R03-158	通関	EDC・CEE	輸出許可書の印刷設定を荷主単位で出力可否設定	現在の設定では、出力コード単位で自動印刷指示を設定できる仕様になっている。	ペーパーレス化が進み、紙媒体での輸出許可書を希望しない荷主が増えており、紙媒体での許可書が欲しい荷主と紙媒体が不要な荷主とが混在している状況である。現在の仕様では出力コードで自動印刷設定する運用となっている為、荷主単位で個別で自動印刷指示が出来ず、全て自動印刷設定する設定にして、印刷不要な許可書は印刷後破棄しており、紙を無駄にしている。	荷主単位など、細かい設定で印刷設定が出来れば、効果的なペーパーレス化が可能となり、印刷用紙の費用が大幅に節約できる。	1001件以上/月
R03-159	通関	HYS	申請手続種別コードG83、船名・数量等変更申請の結果を通知してほしい	受理確認の通知のみ出力される	変更前後の情報がわかる通知が欲しい	変更後の内容を確認するためには原本を窓口提出する必要があり、左記が可能となれば窓口提出が不要となる。	11~100件/月
R03-160	通関	HYS	申請手続種別コードG83、船名・数量等変更申請の結果を通知してほしい	受理確認の通知のみ出力される	変更前後の情報がわかる通知が欲しい	変更後の内容を確認するためには原本を窓口提出する必要があり、左記が可能となれば窓口提出が不要となる。	11~100件/月
R03-161	通関	HYS	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについても、通関士IDでない場合も送信可能な仕様となっていて、HYS送信した通関士が遺憾ながらID違いに気付けないまま申告、許可となる通関事故が発生。	通関士審査が必要なHYS業務（申請）については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	通関士審査が必要なHYS業務（申請）については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	HYS送信時にエラーとなれば、通関士が確認に要する時間の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	11~100件/月
R03-162	通関	HYS	自動車通関証明書の申請	HYSで印紙の納付はできるが、通関証明書の受理印を窓口でもらわなければならない、印紙添付の上マニュアルで税関収納課窓口へ提出している。	汎用申請にて証明書交付申請書と共に自動車通関証明書、輸入許可書、申告書類一式を申請し、受理印に代わる証明書等の発行をもって対応してほしい。	毎回窓口へ直接提出しなければならない、税関へ出向く手間を省略したい。また、コロナ対策のため極力対面での提出、対応を避けたい。	
R03-163	通関	I01, I02, I03	業務コードI01（一括納付書情報）、I02（納付書番号通知情報）、I03（一括納付用明細書情報）それぞれに「輸入取引者」「輸入取引者住所」の表示追記を要望致します。	現行では、管理資料情報のI01, I02, I03の全てにおいて輸入許可書上の「輸入取引者」が表示されない仕組みとなっている。I01（一括納付書情報）：納税者・住所欄に輸入許可書上の輸入者・住所つまり限定申告者名・住所のみが表示される。I02（納付書番号通知情報）：納税義務者名・住所欄に輸入許可書上の輸入者つまり限定申告者名・住所のみが表示される。I03（一括納付用明細書情報）：輸入許可書上の輸入者・住所つまり限定申告者名・住所のみが表示される。輸入許可書には輸入取引者・住所は表示されている。	平成31年3月29日付関税局長発出による通達改正（平成31年4月1日施行）に伴い、限定申告に係る輸入取引者の延納担保使用が可能になった（実際には輸入取引者自身が、自己の延納担保を使用して輸入許可を得ている）ことから、現行システムを変更し、「輸入取引者名」「輸入取引者住所」欄を設けて追記して頂きたい。実際に輸入許可にあたり、納税者が明確になります。（別添I01, I02, I03資料参照）*「輸入取引者」「輸入取引者住所」スペース的に難しいのでしたら「輸入取引者名」だけでも記載お願いしたい。	輸入取引者が自身の延納担保を使用して、輸入許可を得ているにも関わらず、輸入取引者名・住所が納付書に表示されていないために、金融機関への納付の際にも自身とは別の輸入者名（限定申告者名）が書かれた納付書にて納付を行う事になります。それを解消するためにも「輸入取引者名」「輸入取引者住所」をI01（一括納付書情報）、I02（納付書番号通知情報）、I03（一括納付用明細書情報）に追記して頂く事により、実態に即した形となるため。実際に納税した輸入取引者名が納税管理資料に出て来ないのは、そもそも実態に合っていないため、納付者が明らかになる効果があります。またこれまで限定申告に係る貨物の輸入は通関業者が関税・消費税を立て替えていましたが、輸入取引者の延納担保の使用により、通関業者の立替が無くなり、通関業者の立替問題について絶大な効果があります。	101~1000件/月
R03-164	通関	IAS	IAS担保照会情報で照会できる項目を増やしてほしい。	提供した担保の基礎情報及び照会時点の担保引落とし残高は確認できる。	指定期間中の担保利用状況が税関別もしくは官署別に表示されるようにしてほしい。	全国で使用可能な包括担保を提供しており、担保管理や輸入通関実績の把握が容易となる。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-165	通関	IAW	AWB番号を他データよりCOPY→貼付けして利用する際に全桁表示できるような仕様の変更	AWBを他データよりCOPY→貼付けすると、最初のボックスに頭3ケタのAWB番号のみ入り、残りのAWB番号は再度他データよりCOPY→貼付けもしくは手入力している。	AWB番号を他データよりCOPY→貼付けして利用する際、頭3ケタのAWB番号を最初のボックスに入れ、残りのAWB番号を後続のボックスに入る仕様にしてほしい。もしくは海上ICGのBL番号と同様にAWB番号のボックスを1つにまとめてほしい。	IAWを利用する各利用者の手入力等による誤入力防止及び作業の効率向上へ大きく寄与する。	1001件以上/月
R03-166	通関	IAW	IAW等によって税関の審査開始時間等（進捗状況）が参照できる機能の追加	輸入申告において、審査区分が2・3等になった場合で許可までに時間が掛かる際、税関の審査状況等を確認する為、弊社から申告先税関へ電話による照会等をしております。	IAW等のNACCS照会業務によって、税関の審査開始時間等が参照できる機能や、MSX等で送信した添付ファイルに対する開封確認等ができる機能追加いただくよう仕様変更お願い致します。	弊社含めた通関業者から税関への電話による照会等が低減され、業務効率の向上（許可までの時間短縮）に寄与できると思慮いたします。	11~100件/月
R03-167	通関	ICG	貨物情報照会「ICG」の出力項目へ通関士コードを追加	「ICG」の出力項目に通関士コードはない。	申告後、どの通関士が申告したか調べる際、現在は、通関士コードが出力される輸出入者情報照会「IIE」にて確認しているが、「ICG」で確認したい。	「ICG」で税関審査状況等を頻繁に確認している為、その出力項目に通関士コードがあれば、「IEX」で調べ直す必要がなくなり、工数と業務料金が削減される。	11~100件/月
R03-168	通関	ICN	コンテナが複数の輸出申告のコンテナの搬入確認を、1つのコードで行えるようにしてほしい	コンテナ搬入確認の際、ICNで1本ずつ確認を行なっている	フッキング番号等で、複数本のコンテナの搬入確認を1度に行えるようにしてほしい	10本以上のコンテナ貨物を1申告で行う場合、搬入確認を1度に行えると便利である	10件以下/月
R03-169	通関	IDA	共通管理番号欄に番号を入力し、その横の食品（恐らく植防、動検も）欄に実際の共通管理番号で紐付けした届出件数と違う件数をいれてもエラーメッセージが出ないので、食品（恐らく植防、動検も）欄に入力した件数と、共通管理番号で紐付けした届出件数が一致しない場合はエラーメッセージが出るようにしてほしい。	IDAでの届出件数が共通管理番号に紐付く件数より多い場合、その後更に共通管理番号に紐付く新しい届出がされるのかシステムでは判断できない為、エラーにすることはできない。	共通管理番号欄に番号を入力し、その横の食品（恐らく植防、動検も）欄に実際の共通管理番号で紐付けした届出件数と違う件数をいれてもエラーメッセージが出ないので、食品（恐らく植防、動検も）欄に入力した件数と、共通管理番号で紐付けした届出件数が一致しない場合はエラーメッセージが出るようにしてほしい。	誤申告の防止	10件以下/月
R03-170	通関	IDA	石油石炭税、揮発油税が課税の場合に、数量単位を「L」として数量を入力がされない場合、エラーになるように変更していただきたいです。（統計計上単位は「KL」となっている為）	石油石炭税、揮発油税の課税標準は「L」単位で計算されますが、統計数量単位が「KL」である為、誤って「KL」で入力してもそのまま送信されてしまいます。	「L」で入力が行われた場合には、システムが自動的に換算して統計計上を行います」とありますが、「KL」で入力が行われた場合にはエラーが出るようにしていただきたいです。	統計計上単位と課税標準の単位が異なっている場合において、誤りを防ぎ、正しい申告につなげる為。	10件以下/月
R03-171	通関	IDA	基本無税のHSについて、2国間協定またはメガ協定適用の原産地コードを入力した場合、メッセージを表示して欲しい。	基本税率無税のHSであってもEPA（FTA）税率の選択が可能。基本無税であるメッセージは表示なし。	基本無税の場合EPA（FTA）税率を選択する必要は無いが、システム上選択できるため、誤った選択をしてしまった場合入力訂正を行う必要あり。	入力ミスを防げる。	11~100件/月
R03-172	通関	IDA	海上の様に複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWB 1申告	IDAのAWB欄を複数欄に設定して欲しい	マニュアル申告となり、事前の税関への確認、納税手配等が発生し、これがNACCSで行えれば省力化につながる。	10件以下/月
R03-173	通関	IDA	輸入申告の包括保険番号の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	間違った枝番が入ってもそのままIDAできてしまう。（エラーにならない）	輸入申告の貨物保険の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	航空と海上で保険料率が異なる場合があり、誤入力により課税価格の算出に誤りが生じる可能性があるため。	10件以下/月
R03-174	通関	IDA	AIRにて、複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWBのみでの申告対応	海運と同様に、IDAのAWB欄を複数欄に設けてほしい。過去に航空輸送上、危険品申告の関係により、分割輸送されて、マニュアルによる1申告したことが、何度かあった。現在も輸入者から相談受けることがあります。	税関事前相談、あるいは、輸入者経由にて輸出者にインボイスを1AWBごとの分割作成が可能であるかの相談、マニュアル申告書（納付書記載含む）、及び税関への窓口持参等の労力、手間が省ける	10件以下/月
R03-175	通関	IDA	輸入承認番号欄につき、全て縦一列表示してほしい。	まれに縦一列表示になることがあるが大半は、左右交互に表示されている	縦一列に1~10まで表示できる様にしてほしい	左右交互表示による番号の重複誤入力を防ぎ、縦一列表示により、IDA後の誤入力チェックをしやすくなる	10件以下/月
R03-176	通関	IDA	荷主口座担保残高がわかるようにしてほしい	表示なし	コンプライアンス上、荷主口座担保残高を見ることが可能であるなら、延納残高と同様に、荷主口座担保残高もわかるようにしてほしい	申告前に輸入者に納税種別の相談が可能となる	10件以下/月
R03-177	通関	IDA	他法令コードを入力しているのに、承認証番号等が入力されていない場合、アラートを出して欲しい。	警告表示は示されない	例えば関税法70条関係許可承認欄にPAと入力しているのに、輸入承認証番号等欄がブランクになっている場合にアラートを出す。その逆も同様にアラートを出す。	適正申告並びにミスの防止。	11~100件/月
R03-178	通関	IDA	保税上屋コードの自動入力について	保税上屋コードを都度入力しなければならない。	突合している貨物についてはAWB番号を入力するだけで、積載機名や積出地と同じように保税上屋コードも自動で引いて頂きたい。	それぞれの航空会社がどの保税上屋に搬入されるか把握しておく必要があり、場合によってはIAWを行い事前確認する作業が必要になるため。	1001件以上/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-179	通関	IDA	輸入実績のほとんどない税番のアラート表示	特定の国、地域からほとんど実績のない税番を採番しても気づかず申告してしまう	特定の国、地域からほとんど実績のない税番を採番した場合にアラートが出るようにしてもらいたい	ほとんど申告実績のない(=使ってはいけない)税番があるのならば、入力時にアラートが出れば採番ミスを事前に防ぐことができ非違誤謬の発生を抑制できる	10件以下/月
R03-180	通関	IDA	NACCSの貨物情報が積地コードをZZZで入力されている	運送上等で確認して積地名を手動入力している	積込港についてはZZZの事前入力ができないようにするか、ZZZのまま申告を進めることを認める。	敏速な貨物引き取りのため	10件以下/月
R03-181	通関	IDA	原産国が日本製の場合の原産地コードJPを使用できるようにする	日本製の場合仕出入の国の原産地コードを便宜的に入力している	日本製品の場合原産地コードJPを使用できるようにしてほしい	日本製であることが明確になり、原産地コード適用間違いを防止できる	10件以下/月
R03-182	通関	IDA	貨物情報と輸入申告入力控え情報の不一致	貨物情報の記号番号と輸入申告入力控えの記号番号が不一致であっても、エラーが出ず申告できてしまう	貨物情報の記号番号と輸入申告入力控えの記号番号が不一致の場合はエラーが出て申告できないようにしてもらいたい	記号番号が貨物情報と一致しないために貨物が搬出できなくなり、税関に原本訂正を願わなければならないことを防止する	10件以下/月
R03-183	通関	IDA	他通関業者のNACCS口座での関税・消費税・地方消費税の引き落としを可能にしてほしい	他通関業者のNACCS口座は使用不可	業界全体で立替金の減少が過大となっているが通関業者間での立替金も少なくない。元請けの通関業者のNACCS口座が利用できない理由で立替えを行うケースが多々見られる為。	通関業者の立替金負担問題の軽減	11~100件/月
R03-184	通関	IDA	荷主口座担保残高がわかるようにしてほしい	表示なし	コンプライアンス上、荷主口座担保残高を見ることが可能であるなら、延納残高と同様に、荷主口座担保残高もわかるようにしてほしい	申告前に輸入者に納税種別の相談が可能となる	10件以下/月
R03-185	通関	IDA	他法令コードを入力しているのに、承認証番号等が入力されていない場合、アラートを出して欲しい。	警告表示は示されない	例えば関税法70条関係許可承認欄にPAと入力しているのに、輸入承認証番号等欄が空白になっている場合にアラートを出す。その逆も同様にアラートを出す。	適正申告並びにミスの防止。	11~100件/月
R03-186	通関	IDA	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される、内国消費税等種別コードで申告した場合、エラーメッセージが出るようにしてほしい。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される物品で申告した場合、そのままスルーして通ってしまう。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、内国消費税等種別コードを間違えて10%(標準税率)を適用される物品で申告した場合、エラーメッセージが出るようにしてほしい。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される、内国消費税等種別コードで申告した場合に、エラーメッセージが出れば、誤謬防止になる。	
R03-187	通関	IDA	1-2桁目は「原産地(申告)種別」である4桁の原産地コードと原産国が不一致の場合にエラーメッセージが出るようにして頂きたい。	原産地(申告)種別コードが原産国と不一致の場合の場合でも、そのままスルーして申告が進んでしまう。	例えば、原産地種別はEUなのに、原産国はマレーシアと記載した場合にエラーメッセージが出るようにして頂きたい。	エラーメッセージが出れば、誤謬防止になる。	
R03-188	通関	IDA	IS承認の際、AIR NACCSなどでNACCS対応できない倉庫は、後続業務ができないのでマニュアル(紙)対応になる。これらの貨物が後続業務ができるようにしてほしい。	後続業務ができない貨物は、マニュアル対応になる。	どんなパターンでもNACCSで後続業務ができるようにしてほしい。	システムに反映されれば、効率的な業務が可能になるから	
R03-189	通関	IDA	記事欄の入力桁数の変更をお願いしたい。	EDA業務の記事欄の桁数が少ない。	入力桁数を増やしてほしい。	正しい情報で申告を行え、適正な申告を進めることができる。	
R03-190	通関	IDA	AIRの申告書につきましては、申告時に時間が記載されている。申告時の申告時間は、記載が無くても良いのではないのでしょうか。	AIRの申告書は申告時の時間が記載されている。	記載をしなくても良いのでは。	海上の申告分には記載が無いので、海上の記載方法と統一してほしい。	
R03-191	通関	IDA	「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」の内容をデータ化し担保のように申告後、残高から引き落とすような改修ができませんでしょうか。	NACCS上に「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」のデータがない。輸入許可の都度税関に原紙を提出し確認の押印をいただいている。	「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」の内容をデータ化し担保のように申告後、残高から引き落とすような改修ができませんでしょうか。	最初にデータを作成する手間はかかりますが、一度データ化すれば、税関・通関業者の双方の事務作業の効率化が図れるため。	10件以下/月
R03-192	通関	IDA	輸入(引取)申告の入力控に、複数欄に入力したインボイス金額の合計の印字	申告種別：Nで、複数欄の入力を行った場合、BPR合計金額が印字されない。	輸入(引取)申告の入力控に、複数欄に入力したインボイス金額等の合計金額を印字して欲しい。	金額の入力ミスの防止	11~100件/月
R03-193	通関	IDA	法人番号で申告を行なう際も、輸入者の住所を自動的に反映させてほしい	法人番号で申告を行なう場合、輸入者及び住所を手入力で行なっている	法人番号で申告を行なう際も、輸入者の住所を自動的に反映させてほしい	誤入力を防ぐため	11~100件/月
R03-194	通関	IDA	延納番号の入力控へのデータ反映	申告控に使用延納番号の印字がされない為、番号が正しく入力されているかの確認はIDBにて実施している	延納番号の入力控へのデータ反映可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	11~100件/月
R03-195	通関	IDA	口座番号の入力控へのデータ反映	申告控に使用口座番号の印字がされない為、番号が正しく入力されているかの確認はIDBにて実施している	口座番号の入力控へのデータ反映可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	101~1000件/月
R03-196	通関	IDA	統計除外の場合の数量欄への入力方法の変更	航空分に関して、数量がKG以外の入力が必要なHSの場合、都度入力して運用	統計除外の場合の数量欄への入力しなくても申告可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-197	通関	IDA	再輸入申告時の統計計上除外の税番末尾の入力方法	無償の展示品の再輸入の場合に、日本製であれば「Y」入力し、それ以外は「E」入力しておりますが、無税品では「E」入力できるものの再輸入申告時の有税品で統計計上除外のため税番末尾に「E」入力する場合はNACCSでははじかれてしまいます。	有税品であってもE入力可能にして欲しい	統計計上除外品であっても、有税品であれば統計計上するしか入力方法が無い為。	10件以下/月
R03-198	通関	IDA	B/L番号入力数の増加	IDA業務のB/L番号入力カ所については、BL5件分しか入力できず、申告を分けなければならなくて困っている。	IDA業務のB/L番号入力 6件以上可能にしていたきたい。	1申告で済む。 インボイス分割表の作成が不要になる。 原産地証明書分割表の作成が不要になる。 許可情報の内容を荷主が分かり易い。	10件以下/月
R03-199	通関	IDA	繰返部の課税標準数量の入力を小数点第3位まで入力できるように。	石炭の輸入時、繰返部の課税標準数量の入力が小数点第2位までしか入力できない。 INVOICEの数量は小数点第3位までであり正式な数量が入力できず、石油石炭免税にも影響がでている。	繰返部の課税標準数量の入力を小数点第3位まで入力できるように改善してほしい。	INVOICEの数量どおり小数点第3位まで入力できることで、正確な申告と石油石炭免税への影響も出ない。	10件以下/月
R03-200	通関	IDA	担保番号の表示	輸入申告書上に担保番号が表示されない	輸入申告書上に担保番号が表示されるようにしていただきたい。	書類審査時に使用担保番号をIDAで確認しなくてはならず、業務効率が悪い。	11~100件/月
R03-201	通関	IDA	口座番号の表示	輸入申告書上に口座番号が表示されない	輸入申告書上に口座番号の表示	荷主もしくは通関業者、どの口座を使用するのか、書類審査時に確認できる。	10件以下/月
R03-202	通関	IDA	5BLを超えるものは、マニュアル申告だが、B/L入力数の増加もしくは、記事欄にB/Lを入力してもシステムと連動されるような仕様にして欲しい	現行5B/Lまで	NACCSによる、輸入申告書作成の方がはるかに業務効率が低い為	システムで行えば、税関窓口訪問不要となる	10件以下/月
R03-203	通関	IDA	輸入承認証等に入力する関税割当コードと番号入力のアンマッチ時のエラー表示化	承認証等にKANW(システム利用で無い)、番号欄にシステム利用した番号(C●●●)を入力しても受付ける	輸入承認証等コード(KANS/KANW)と入力する関税割当番号(システム利用/システム利用しない)でアンマッチがある場合はアラーム表示がされるようにしてほしい。	誤入力の防止、後続業務TQC業務への確実な移行	10件以下/月
R03-204	通関	IDA	軽減税率対象貨物の品目番号を入力して内消費税種別にF4を入力したら何かメッセージが出るようにしてほしい。	現行軽減税率対象貨物の品目番号を入力して内消費税種別にF4にしても業務メッセージには何も出ないと思います。	業務メッセージに「軽減税率対象貨物ではありませんか?」と入れて頂ければ幸いです。	入力誤りの多い箇所と思われます。誤った場合、輸入者との対応に大きな労力を要します。	10件以下/月
R03-205	通関	IDA	仕入書識別欄の使用について	A, B, C, Dのいずれかの入力が必要	欄の削除希望	弊社はBのみの使用につき。 A, C, Dをどのように使用するのかがイメージがつかない	101~1000件/月
R03-206	通関	IDA	重量以外の第1数量未入力の場合のエラー表示希望	NOなどの第1数量を入力する必要がある税番にたいして第1数量を入力し忘れていてもエラーにはならない	第1数量の入力忘れの際にはピンクのエラーを表示して頂けると入力忘れを防ぐことができる	入力忘れを防止し誤謬を減らす	11~100件/月
R03-207	通関	IDA	ISW申告の際にも食品品のHSCODEを入力した時に消費税等種別にF4を入力したら注意喚起ができるようにしてほしい	ISW申告の際には食品品のHSCODEで消費税等種別に誤ってF4を入力しても注意喚起がでない。	ISW申告の際にも食品品のHSCODEを入力した時に消費税等種別にF4を入力したら注意喚起ができるようにしてほしい	入力間違いをしても気づかない可能性があり、改修してほしい	10件以下/月
R03-208	通関	IDA	1. IDA→CIFで海上保険付保の場合、入力する欄はあるのに自動計算しないのが不便。	1. 契約条件がCIFなど保険込であっても輸入者が別に海上保険をかけている場合、入力は出来るが自動計算されない。	1. 保険欄に入れた金額は課税価格算入が自動でされるようにしてほしい。	1. 課税価格手計算誤りの防止、業務合理化	10件以下/月
R03-209	通関	IDA	AIRIにて、複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWBのみでの申告対応	海運と同様に、IDAのAWB欄を複数欄に設けてほしい。過去に航空輸送上、危険品申告の関係により、分割輸送されて、マニュアルによる1申告したことが、何度かあった。現在も輸入者から相談受けることがあります。	税関事前相談、あるいは、輸入者経由にて輸出者にインボイスを1AWBごとの分割作成が可能であるかの相談、マニュアル申告書(納付書記載含む)、及び税関への窓口持参等の労力、手間が省ける	10件以下/月
R03-210	通関	IDA	輸入承認等番号欄につき、全て縦一列表示してほしい。	まれに縦一列表示になることがあるが大半は、左右交互に表示されている	縦一列に1~10まで表示できる様にしてほしい	左右交互表示による番号の重複誤入力を防ぎ、縦一列表示により、IDA後の誤入力チェックをしやすくなる	10件以下/月
R03-211	通関	IDA	IDA時の減免税コード過入力の際、エラーとなる仕様の追加	民間航空機貿易に関する協定の対象産品(税番)、かつ関税無税、かつ原産地が協定国の場合、IDA時の減免税コード欄に「00111」を入力する必要がありますが、該当しない産品(税番)、原産地であっても入力可となっており、過入力したまま申告することが散見されます。 (申告先税関から指摘うけ、申告後訂正や許可後訂正となることが散見されます)	入力不要な税番・原産地の場合、入力不可(エラー)となるよう仕様変更お願い致します。	輸入申告書類作成時並びに通関士による審査の際、入力可否を都度確認することが不要となり、業務効率の向上(申告までの時間短縮、許可後の税関含めた関係者の無用な業務等の低減)及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	101~1000件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-212	通関	IDA	IDA時のインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）の追加	IDA入力時において、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）は「FOB」「C&I」「C&F」「CIF」の4種類となっており、それ以外のインボイス価格条件（建値）の場合、課税価格を自動計算させたいので、上記4種類のうち類似のコードを入力するが、この場合、実際取引の価格条件を「記事（税関）」欄に入力する必要あり。業務効率が低下する一因となっていることに加え、入力漏れ、入力間違い等が発生し、税関から指摘受け申告後訂正等となることが稀に発生。	例えば、「EXW」「FCA」等、使用される頻度の高いインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算される仕様への変更をお願い致します。 （可能であれば、上記以外の建値についても追加をお願い致します）	誤申告等の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	1001件以上/月
R03-213	通関	IDA	IDA時の運賃について、妥当額を外れる場合に注意喚起メッセージが表示される仕様の追加	IDA入力時において、運賃の通貨単位を誤認して入力（例：誤USD、正JPY）、書類作成者・審査通関士ともに遺憾ながら誤入力に気付けないまま申告、区分1で許可となる通関事故が発生。 ※重量(KG)あたりJPY31,759という航空運賃となっていた。	例えば、重量(KG)あたりの運賃がJPY1,000を超える場合やJPY10未満の場合、入力控に注意喚起メッセージが表示されるよう仕様変更をお願い致します。 ・妥当金額の設定及び小口貨物（例：10KG未満の貨物）には表示させない、等は、各通関業者（利用者コード別・航空/海上別）にてNSS等で随時設定、変更できる仕様希望。	入力控の注意喚起メッセージによって、輸入申告書類作成者・審査通関士ともに、運賃の誤入力に気付きやすくなり、修正申告・更正請求事案の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	1001件以上/月
R03-214	通関	IDA	輸入申告における関連省庁システムとのリンク付けについてですが、食品等輸入届出事項登録の場合のリンクできる件数を40件以上等、大幅に増加してほしい。	輸入申告と関連省庁システム（他法令手続）とのリンク付けは、食品等輸入届出事項登録の場合、9件までと認識している。	種類が多いお酒の輸入案件が生じると、食品届出件数は多い時で、40件以上生じる場合もあり、9件だけだとリンクできなくなってしまう。	リンクが出来ないと、食品届出控、及び済証を、PDF添付し、MSXで添付送信する手間が生じてしまう。	
R03-215	通関	IDA	「納期限延長」、「納付方法」が空欄で送信した際、警告のメッセージが出るようにしてほしい。	「納期限延長」、「納付方法」が空欄のままでもIDA、IDC共に特に警告無しで送信できる。		昨今、リアルタイム口座利用率が高く、納付書での税金の納付は納期限延長を利用する場合を除けばほぼ無い。誤送信防止のためにIDA時に「納期限延長」、「納付方法」が空欄のまま送信した際は警告メッセージが出るようにしてほしい。	10件以下/月
R03-216	通関	IDA	繰返部-画面に於ける、ショートカット機能の追加	繰返部-画面 内国消費税【内消費税種別】の1に【F4】を入力後、次の欄【品目番号米】に行くまでに、Enterキーを18回、又は、キーボードから手を放し、マウスにてカーソルを合わせている。※消費税のみの場合	【F4】入力後、次の欄【品目番号米】まで移動出来る、ショートカット機能の追加	全国の通関士・従業者の業務効率up	1001件以上/月
R03-217	通関	IDA	共通部の入港年月日欄が空白の場合のエラー表示追加	現行では空白のままでも申告が可能	共通部の入港年月日欄が空白の場合はエラー表示が出てほしい	申告書の入力漏れを防ぐ為	
R03-218	通関	IDA SID	IDA SID(輸入申告)において1申告で10 B/Lまで申告を可能として頂きたい。	1申告で5 B/Lまで申告可能となっている。6 B/L以上で1申告の場合はマニュアル申告となってしまう。	IDA SID(輸入申告)で1申告10B/Lまで申告を可能として頂きたい。若しくは、若しくは、輸入申告でもB/Lの仕合せ業務を可能としていただきたい。 分割申告が不可能な場合があり、NACCSが対応出来ないことを理由にマニュアル申告となっている。 また、昨年 経済財政諮問会議での答申を経て『全ての行政手続きを対象に見直しを行い原則デジタルで完結できるよう見直す。』と閣議決定されます。過去に同様の要望も上がっております。再度検討の程、宜しくお願い致します。	マニュアル申告を削減することにより、MSXが可能となり、書類持ち込みの必要がなくなり、申告官署自由化のメリット享受する事ができる。	11~100件/月
R03-219	通関	IDA SID	マーク・荷姿を入港日のように本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。	本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。ICGで内容を確認しているが、通関業者がICG確認後、本申告までの間に倉庫が訂正してしまい、許可後の訂正を求められる場合がある。	マーク・荷姿を入港日のように本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。また、航空の輸入申告で自動入力となっている場所も併せて海上でも自動入力として欲しい。	申告内容の変更となる項目も多く、通関士審査結果登録(CCA)の回数が増え煩雑となっており、通関士が在宅勤務を行う妨げにもなっている。在宅勤務を進めるためにも改修して欲しい。	1001件以上/月
R03-220	通関	IDA, EDA	欄の挿入ができるようにしてほしい	繰返部で右クリックをすると、「画面クリア」の「選択した繰返部をクリアして詰める」があり非常に便利だが、「選択した繰返部を挿入して追加する」が無い	集計の誤りなどでIDA(EDA)の訂正をする際、挿入ができない為に、以降の欄を全て打ち直す必要があり、欄が多い際に手間である	入力の簡素化	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-221	通関	IDA, IFA	IDAとIFAの間で共通管理番号によるデータの呼び出しを行うように変更	IDAとIFAの入力の際。共通管理番号を入力してリンクさせているが、輸入者欄やB/L番号欄など共通の項目について同じ内容を2度入力する必要がある。	共通管理番号でリンクさせた時に、IDAからIFA、IFAからIDAに同じ項目の入力内容を反映させるように変更して頂きたい。	同様の内容を二度入力する必要がなくなり、作業の効率化のミスの削減に繋がる。	11~100件/月
R03-222	通関	IDA/EDA	IDA/EDAの記事欄（税関用、通関業者用、荷主用）の桁数増	税関用140桁、通関業者用と荷主用各70桁	税関用200桁、通関業者用と荷主用を各100桁	免税容器の名称や個数、番号を入力する際に不足が生じている。	10件以下/月
R03-223	通関	IDB	共通管理番号や輸入承認番号等欄にを入力し、他法令欄（関税法70条関係許可承認欄）が空白 だった場合、アラートを出して欲しい。	何も表示されない	他法令に係るHSに関して注意喚起のアラートを出してほしい。	他法令の確認漏れを入力K漏れを防ぐため	10件以下/月
R03-224	通関	IDB EDA, IDA	繰返部「品目番号」を入力しなおした際に、「品名」欄が変更されていない場合に注意喚起をする、または自動補完の場合は「品名」欄を正しい品名に自動で保管しなおす	既存のIDA情報をIDBで呼び出し、「品目番号」欄を入力しなおした際、「品名」欄が入力され直されなくても、エラーやアラートなど何も表示されず、品目番号と品名との不一致のまま申告してしまい、誤謬となってしまうことがある	IDBで「品目番号」のみ訂正され、「品名」が変更（または自動保管の場合は削除して空欄化）されていない場合、エラーやアラートを表示するか、または品名の自動補完で品目番号に即した品名に自動保管しなおしそのことを通知してほしい。	ミスに気が付くことができる、品目番号と品名の不一致のままの申告を防げる	10件以下/月
R03-225	通関	IDB/IDC	申告控の保存期間	現在、輸入申告入力控を登録後、NACCS上における保存期間がおおよそ1週間程度である。	NACCS上における入力控の保存期間を約2、3週間程度保存できるように改善して頂きたい。	本船の遅延、長期休暇等（GW/年末年始）でNACCS上のデータが消えることが多いため、再度入力する必要がある。業務が増えるうえ、入力ミス等に繋がる。	
R03-226	通関	IDC	他法令欄や貿易管理令欄、輸入承認番号等欄、記事欄などの未入力時のエラーサイン表示	ワシントン条約の申告の際、貿易管理令に”W”を入力しても輸入承認番号等欄が未入力であっても申告可能となっている。他法令についても同様である。また税関記事欄についても、例えば原産品申告書を用いて申告する際に、完全生産品の場合は”EPA W0”を入力する必要があるが入力がなくても申告が可能である。	いずれかを入力した場合に関連する項目が入力されていないと警告メッセージもしくはエラーが表示されるようにする。	入力漏れが防げることとなり、適正な申告に繋がれる。	11~100件/月
R03-227	通関	IDC	審査区分3で審査終了済み貨物の識別	審査区分3の書類で検査取り止めとなった場合に取り止めの通知が申告端末に配信される場合とされない場合がある	審査区分の変更は作業区分において重量なポイントですので、審査終了(CEA)で自動自動で変更内容を通知する。	敏速な貨物引き取りのため	10件以下/月
R03-228	通関	IDC	税関の執務時間が官署により異なるのでシステムとしての利用は24時間統一してほしい。	BND貨物の通常申告できる時間は税関官署ごとに異なる	システムとして24時間の申告業務の稼働を行えるようにする。	サテライト、在宅業務化の促進	11~100件/月
R03-229	通関	IDC	他法令欄や貿易管理令欄、輸入承認番号等欄、記事欄などの未入力時のエラーサイン表示	ワシントン条約の申告の際、貿易管理令に”W”を入力しても輸入承認番号等欄が未入力であっても申告可能となっている。他法令についても同様である。また税関記事欄についても、例えば原産品申告書を用いて申告する際に、完全生産品の場合は”EPA W0”を入力する必要があるが入力がなくても申告が可能である。	いずれかを入力した場合に関連する項目が入力されていないと警告メッセージもしくはエラーが表示されるようにする。	入力漏れが防げることとなり、適正な申告に繋がれる。	11~100件/月
R03-230	通関	IDC	TPP11適用に際して国ごとに譲許税率が異なる場合の入力エラー表示を新設。	現在、TPP11適用貨物の原産地入力コードで入力された国では税率が誤っているが入力エラーもなく申告まで至っている。 (例：441231-9380) ベトナム産 正：VN-1E14(4.5%) 誤：VN-TP14(3.8%)	TPP11で適用される税率と譲許税率適用国の申告に際して誤った入力を行った場合にエラー表示等が出るようにしていただきたい。	非違の削減や修正・更正等が減少され適正な申告が行えるので、再度検討願います。	10件以下/月
R03-231	通関	IDC	事故貨物「Z」の輸入申告について	申告時、エラー対応とはならず申告後に、区分Z2が払い出される	貨物情報とリンクしているIDC業務に於いて、Z貨物の場合、申告不可として欲しい。	●適正申告の確保 ●区分1を想定した税関業務の負担軽減 ●区分1を想定した通関業者の業務負担軽減	10件以下/月
R03-232	通関	IDC	70条 入力 CR /FD/PL/AN 等	輸入承認番号等に CRNO XXX の入力しているが、70条コード「CR」の入力を失念した場合もエラーとならない。	輸入承認番号等欄（4桁 CRNO）の入力がある場合に限り、上位2桁とのリンク付けによる70条欄 入力失念のエラー対応、若しくはアラート対応	●適正申告の確保・非違の削減 ●FD等の入力失念により区分1に於いては、Yが付かず税関へ提出されない恐れがある。	10件以下/月
R03-233	通関	IDC	予備申告において蔵置される上屋が変更になった時に上書きし自動的に起動するようにしてほしい	予備申告内容と蔵置される上屋が違くと自動起動しない	自動的に蔵置される上屋を上書きして本申告が進むようにしたい	特に開庁の時に予備申告をするが、スムーズに本申告に進めるようになる	10件以下/月
R03-234	通関	IDC	予備申告時から上屋変更があった場合に入力して自動起動	予備申告と上屋が違くと自動起動せず	予備申告後に上屋変更があった場合に、自動的に上屋を上書きして本申告が入るようにする	夜間に貨物が搬入するようなケースでの、上屋不一致による本申告の起動ができないケースをなくす	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-235	通関	IDC	予備申告時から上屋変更があった場合に上書きして自動起動	予備申告と上屋が違くと自動起動せず	予備申告後に上屋変更があった場合に、自動的に上屋を上書きして本申告が入るようにする	夜間に貨物が搬入するようなケースでの、上屋不一致による本申告の起動ができないケースをなくす	10件以下/月
R03-236	通関	IDD	2. IDD→IBPの際にBP時の換算レートが採用されるようにしてほしい。	2. IBP時にBP時のレートが反映されないため、手計算でインボイス価格を算出し、JPYで入力している。	2. IBP時にはBP時のレートで自動計算されるようにしてほしい。	2. 課税価格手計算誤りの防止、業務合理化	10件以下/月
R03-237	通関	IDD→IDE	検査立会者コードの変更	検査立会者が吸収合併されて存在しなくなったため、自由化申告でIBPの処理をしようとしたところ、「検査立会者コードが存在しない」が原因でNACCSIによるIBP申告ができない。BP承認の後にIBPは必ず行うのにblankで送信できない、他の業者コードにATIで変更もできない。	①BP時の検査立会者の変更を承認後も可能とする、または事由コード(合併・変更等)を代替りのコードとして追加入力可能にする。 ②検査立会者のチェックを外す。	余分にかかる以下の手間が省略できる。 ・税関に相談しマニュアル処理で対応することとなり、旧税率で計算書作成もあり手間が掛かる。 ・税関側もマニュアル対応のため内部確認作業の負担が大きい。 ・また、荷主が業者リアルタイム口座で納付しているため、マニュアルになると使用できなくなり、即納で納付しなければならなくなる。	10件以下/月
R03-238	通関	IDI	業務リンクにIDBの追加	現在は無し。	IDIで一覧出力後、申告番号の業務リンクにIDBの項目を追加してほしい。	事項登録のデータ伸ばしを効率的に行える。	11~100件/月
R03-239	通関	IDI	予備申告後のものは、全て審査区分を表示して欲しい。	申告状況把握の為、IDIを活用しているが、審査区分が入らないものがあるので都度IIDで検索を行っている。また、MSX送付漏れ確認の為、IDIを出力し、1申告毎にIMSで紹介しているが、区分が入っていないものは、まず、IIDで予備申告時の申告番号で検索した後、区分2・3であれば、更にIMSで検索している。	予備申告後に内容変更を行い、本申告していないものは審査区分が表示されないが、予備申告時の審査区分を表示して欲しい。	IDIの検索結果に全ての区分が表示されることで、申告の内状況確認が容易になる。また、MSX漏れ確認作業の軽減される。	1001件以上/月
R03-240	通関	IDI	許可前の申告を含めた全ての輸入申告において、IDIの検索結果にMSXの有無を表示して欲しい。	MSXの送付漏れがあると税関において審査が行われない為、許可前の全ての区分2・3の申告においてIMSで送付漏れを確認している。	IDIの検索結果にMSXの有無を表示して欲しい。		1001件以上/月
R03-241	通関	IDI	輸入申告等一覧照会【IDI】機能の改善	輸入申告等一覧照会【IDI】の通関関係書類未提出申告一覧【L】では、審査区分1の通関関係書類の提出状況は確認できますが、審査区分2又は審査区分3の提出状況は確認できません。さらに、予備申告【IDC】後、輸入申告変更事項登録【IDD】を行った場合、【IDC】を行っていないものは審査区分が表示されないで提出状況は確認できません。	審査区分に関わらず通関関係書類の提出状況を確認できるよう要望します。【IMS】での書類の送付確認(1日あたり2時間から3時間)作業が解消されることが期待されます。		
R03-242	通関	IDI IES	申告一覧照会情報のAIRの申告分におきまして、社内整理番号が記載されるべきところに、社内整理番号が記載されません。記載されるよう設定変更してほしい。	申告一覧照会情報のAIRの申告分は、社内整理番号が記載されない。	申告一覧照会情報のAIRの申告分におきまして、社内整理番号が記載されるべきところに、社内整理番号が記載されない。	社内において、申告済みかの確認は、申告一覧照会情報で社内整理番号を探して確認している。要は社内整理番号を確認の基準としているので、IDIで申告状況を確認する際に社内整理番号を見ることが出来ないと確認しづらい。	
R03-243	通関	IDI/IDA	事項登録日での一覧出力	照会対象日がIDA入力控の申告予定年月日になっている。	照会対象日を事項登録日(IDA入力控の申告年月日)で一覧出力できるようにしてほしい。	通常、IDAのデータは10日で切れます。事項登録日での一覧出力ができれば、データ切れ日の把握が容易になる。	11~100件/月
R03-244	通関	IER	日付表記	現状、レートは今週、先週、2週間前…と記載されている	具体的にいつからいつまでと日付表記できないか。 例) 今週 → 5/16~5/22	カレンダーと照合して確認しているが、特に過去のレートは見間違える可能性があるし、手間がかかる。	11~100件/月
R03-245	通関	IFA	社内整理番号、荷主REF NO. の入力欄が欲しい	社内整理番号、荷主REF NO. の入力欄なし	食品届出済証に社内整理番号や荷主REF NO. を表示させたい	出力帳票にそれらの番号が記載されていたら、輸入者・通関業者ともに帳票の管理がしやすい	
R03-246	通関	IFA	訂正後の更新がされるようにしてほしい。	IFDで訂正後、枝番(1になった番号)でIIFを見ても訂正前にOKになったままで更新されない。	訂正後の更新がされるようにしてほしい。	審査状況の正確な確認に役立つ。	11~100件/月
R03-247	通関	IFA	記事欄の入力文字数を増やしてほしい。	記事欄の入力数が少ない。	文字数を増やしてほしい。	業務の効率化に役立つ	11~100件/月
R03-248	通関	IFA	連絡票の文字数を増やしてほしい。	連絡票の文字数が少ないため、何枚も出てきて紙の無駄。	文字数を増やしてほしい。	無駄を省ける。	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-249	通関	IFA	同一荷主の申請で申告番号をまとめて入力し、パスワード入力が1回で済むようにしてほしい。	同一荷主の申請でまとめて申請できない。	申告番号をまとめて入力し、パスワード入力が1回で済むようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	11~100件/月
R03-250	通関	IFA	NACCSで品目登録番号や輸入者コードで内容が検索できるようにしてほしい。	品目登録がNACCSで検索できない。	NACCSで品目登録番号や輸入者コードで内容が検索できるようにしてほしい。(但し、情報漏洩の問題が無いことを条件として)	業務の効率化に役立つ	11~100件/月
R03-251	通関	IFA	NACCSで品目登録が申請ができるようにしてほしい。	品目登録が紙提出	NACCSで申請ができるようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	11~100件/月
R03-252	通関	IFA	NACCSで入力装置の届け出ができるようにしてほしい。	入力装置の届出も紙提出。	NACCSで届け出ができるようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	11~100件/月
R03-253	通関	IFA	輸入者富符号から法人番号になっても品目登録済データを再申請することなく引き継ぐ。	将来的に輸入者富符号が廃止になり、法人番号だけになった場合、現在の品目登録済データを再申請することなくシステム上で自動引き継ぎされるのか不明。	輸入者富符号から法人番号になっても品目登録済データを再申請することなく引き継げるようにしてほしい。	不必要な業務負担が発生しなくなる。	11~100件/月
R03-254	通関	IFA	原材料・添加物欄をもう少し増やせるなら増やしてほしい(20欄ぐらいまで)	現在はそれぞれ15欄まで	原材料・添加物を多く使用した貨物がそれなりにあり、別紙として出てくるのに紙の無駄に感じる。PDFファイルで落とす作業も手間がかかる。	紙提出時、紙の削減。入力してチェック時にチェックしやすくなる	11~100件/月
R03-255	通関	IFC→IDC	複数件数の食品等輸入届(IFC)取得後の輸入申告について(リンク数の誤入力)	IFC時に実際の申請数が5件しかないが、リンク数を誤って6と入力してもエラーにならない。	IDC時に共通管理番号を6件分と入力しても本申告(IDC)が可能。共通管理番号の申請件数とリンク数が違えば申告がかからないよう対応願いたい。若しくはIFC時に申請エラーとなるよう願いたい。	食品等輸入届の適正な申請と輸入申告時の非違・誤謬防止に繋がる。	数件/年
R03-256	通関	IID	検査部門へ処理が送致されているかの可視化	IIDで申告照会を実施しても、審査状況が確認出来ない	IIDで検査部門へ書類が送致されたかどうかを可視化して欲しい	電話による確認が無くなることで業務効率化が図れる為。	11~100件/月
R03-257	通関	IIE	IIE業務の検索結果の変更	会社情報を公表していない税関発給コードの場合、輸出入者名で検索すると検索結果がエラーコードE0004「入力された輸出入者名で始まる輸出入者は登録されていない。」となる。 一方、検索条件が輸出入者コードであれば、検索結果はエラーコードE0006「入力された輸出入者コードの輸出入者情報は公開されていない。」となる。	顧客は輸出入者符号の取得は無いとの認識であっても、IIEで検索をかけると取得がある場合がある。その場合、輸出入者名で検索をかけるが、税関発給コードを取得をしているが情報の公表をしていない場合、検索結果がエラーコードE0004となるため取得していないものと判断してしまう。E0006が検索結果として出るなら、顧客への再確認が出来る。	顧客が税関発給コードの取得状況を正確に把握していない場合でも、税関発給コードの取得状況が分かるようになるため、顧客へ再度問い合わせることができ、正確な顧客情報を頂いた申告が可能となる。	10件以下/月
R03-258	通関	IIE	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにしてほしい。	IIEで前8桁で検索したら、末尾0000のものしか結果表示されない。 IIEで前8桁で検索した後、再度輸出入者名で検索しなおしている。	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにしてほしい。	会社によっては営業所ごとに末番を設定しているが、末番違いがあるかどうかすぐにはわかるようになる。	11~100件/月
R03-259	通関	IIE IIE01	IIEを法人番号でも検索できるようにし、IIEとIIE01の法人番号を業務リンクで紐づけて欲しい。	IIEは輸出入者符号か輸出入者名(英字)でしか検索できない。	IIEを法人番号でも検索できるようにし、IIEとIIE01の法人番号を業務リンクで紐づけて欲しい。	社名(日本語表記)と法人番号がわかれば輸出入者符号の有無を確認できるようになる。	101~1000件/月
R03-260	通関	IIE01	IIE01(法人番号照会)を送信時の返信電文に「輸出入者コード」の出力フィールドがほしい。	現在は、商号又は名称、国内所在地のみ出力される	法人番号は判っているが、紐づいている輸出入者コード(有無も含めて)を知りたい状況があるため。	申告にあたって正確に把握しておきたい事項が即座に確認できる。	10件以下/月
R03-261	通関	IMI	IMIに件数・本数が正しく反映するようリクエストします。	IMIで件数・本数を確認後、ターミナルにてPKI取得。その後、船卸確認終了情報が出力され、エンドが立つ。	仮陸貨物があり、先方がCMF02の追加・削除をした。IMIにはその情報が正しく反映されず、B/L件数とコンテナ本数が3回上乗せされた。IMI Bの画面で確認すると、右上に表示されるB/L件数とコンテナ本数は増え続けたが、詳細を数えると正しい数になっている。表示されるB/L件数・コンテナ本数と実際のデータ数が不一致になるため、PKI後に出力される「船卸確認終了情報」が出力されず、エンドが立たない。	NACCSの仕様により、件数と本数が正しく表示されない場合があるため。 先方がCMF02の登録ができていないと思い込み、同じデータを3回登録してしまったため。 B/L件数とコンテナ本数が一致すると、ターミナルでPKI処理ができる。 同じ本船が次回入港するときに、NACCS内でデータの混ざりを防ぐことができる。	10件以下/月
R03-262	通関	IMS	ICG業務の様に、画面を元に戻さなくても連続送信できるようにしてほしい	現状は複数申告分のIMSを確認しようとする、確認したい件数毎にIMSの画面を開き直さなくてはならない	IMSの最初の画面で入力し、送信した後の展開画面からも次申告分のIMSが展開できるようにしてほしい	複数申告のIMSを確認する際に、都度画面を閉じて再入力する手間を省きたい為	11~100件/月
R03-263	通関	IPC→IDC	複数件数の輸入植物申請(IPC)取得後の輸入申告について(リンク数の誤入力)	IPC時に実際の申請数が5件しかないが、リンク数を誤って6と入力してもエラーにならない。	IDC時に共通管理番号を6件分と入力しても本申告(IDC)が可能。共通管理番号の申請件数とリンク数が違えば申告がかからないよう対応願いたい。若しくはIFC時に申請エラーとなるよう願いたい。	食品等輸入届の適正な申請と輸入申告時の非違・誤謬防止に繋がる。	数件/年

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-264	通関	IVK	連続して照会できる仕様への変更	複数の船舶コードを検索する際、連続して検索できないため、1船ずつIVK業務を開き直して船名を入力し検索している。	ICG業務のように照会結果画面から次の船名を入力して検索できる仕様に変更して頂きたい。	複数の船舶コードを紹介したい場合に1船ずつIVK業務画面を閉じては開く作業となるため。ICG業務のように連続入力できれば作業が効率化できる。	11~100件/月
R03-265	通関	IXX	ICG業務の様に、画面を元に戻さなくても連続送信できるようにしてほしい	現状は複数申告分のIXXを確認しようとする、申告件数毎にIXXの画面を開き直さなくてはいけない	IXXの最初の画面で入力し、送信した後の展開画面からも次申告分のIXXが展開できるようにしてほしい	複数申告のIXXを確認する際に、都度画面を閉じて再入力する手間を省きたい為	101~1000件/月
R03-266	通関	KKC	更正の請求を行った際の返金確認	実際に振り込まれないと確認できない	NACCSで振込状況を確認できるようにしてほしい	輸入者の口座に振り込まれる場合、通関業者が振込を確認することが難しいため	10件以下/月
R03-267	通関	MHA	IS申請中のものは、見本持ち出し申請が不可能。これを可能として欲しい。	IS申請中の場合、見本持ち出し申請はマニュアル申請となる	NACCSによる、見本持ち出し申請の方がはるかに業務効率が高い為	システムで行えば、税関窓口訪問不要となる	10件以下/月
R03-268	通関	MHA、MHC	汎用申請で期間延長申請を可能にする。	MHAで予定期間内に処理できなくなった場合、期間を延長するには紙での提出が必要になる。	汎用申請で期間延長申請を可能にする。	税関に出向く手間がなくなり、業務のスピードアップにつながる。	10件以下/月
R03-269	通関	MIC	申告控・許可書等の取り出し	都度、未読電文取出をしなければ、各電文を受信することが出来ない	取出作業がなくても電文受信が出来ないか	リアルタイムでの許可件数の把握と取出作業削減	101~1000件/月
R03-270	通関	MIC	輸入許可通知情報の出力遅延	予備申告した情報に対して「1MI」の受付完了後、許可情報の戻り電文受信に「最大で3分」掛かるケースが、午前中に散見され搬出作業に時間が掛かりすぎて大変困っております。	この所要時間を最小帯にする事は出来ないかのご相談です。ちなみに午後の時間帯はこのような事はございません。		
R03-271	通関	MOA	輸出申告履歴のある中古車のMOTAS登録の際にアラートを出してほしい	MOTAS登録時、過去に一度輸出申告を行った中古車であっても登録可能であり、輸出申告を行いMOTASの不具合表示が出ないとそれが分からない。	MOTAS登録時、過去に輸出申告を行ったことが分かるようにアラートを出してほしい。	輸出通関履歴のある中古車であることが分かれば、事前に輸出予定届出証明書の原本を取り寄せることが可能となり、スムーズな輸出通関が行えるため。	
R03-272	通関	MSB	MSBの確認	電話で確認するか返信の電文がくるまでMSBがきちんと確認されているか分からない	NACCSでMSBの審査状況を確認できるようにしてほしい	電文があがってくるまでのタイムラグの間に、電話でも同じことを確認してしまう二度手間を減らすため	10件以下/月
R03-273	通関	MSX	申告添付登録（MSX）の輸入申告に添付できるデータ容量を40MBに拡張して欲しい。	現在、合計10MBに拡張されたがまだ不足する場合があります。画質を落として容量削減するなど苦慮している。	添付データ容量を合計40MBにしてほしい。	業務の効率化に繋がる	10件以下/月
R03-274	通関	MSX	添付ファイル容量の制限緩和	容量制限により必要なデータを送り切れないことがある。なんとか送信枚数を減らしたり、画質を下げ不明瞭な書類を送付するしかない	添付ファイルの容量制限を緩和してほしい	必要なデータを全て明瞭な画質で送ることができ、税関へ正確な情報を伝えることができる	
R03-275	通関	MSX	申告添付登録の申告添付登録の容量増加	1回の申告添付登録業務あたり、ファイル数は最大10ファイル、合計容量は最大10MB	1回の申告添付登録業務あたり、ファイル数は最大10ファイル、合計容量は最大10MBから、せめて15MBへ容量の増加。	通関関係書類の電子的提出についての趣旨を完結出来る。（MSBで対処できない書類を申告官署窓口提出へ切り替えざるを得ない対応の軽減）	10件以下/月
R03-276	通関	MSX	EAC後の1Y書類のMSXでの送信を可能してほしい	MSX送信不可（原本提出）	当初申告区分1→許可後訂正後に1Yとなった申告について、MSXで書類を送付できるようにしてほしい	原本を提出する必要がなくなる	10件以下/月
R03-277	通関	MSX	EAC後の1Y書類のMSXでの送信を可能してほしい	MSX送信不可（原本提出）	当初申告区分1→許可後訂正後に1Yとなった申告について、MSXで書類を送付できるようにしてほしい	原本を提出する必要がなくなる	10件以下/月
R03-278	通関	MSX	データ容量の拡大	1ファイルの容量3MB 合計容量が10MB	1ファイルの容量を10MBに拡大	通関書類が100枚以上になる場合等、3MBを超えないように調整する必要がある。容量拡大となれば業務効率向上につながる。	10件以下/月
R03-279	通関	MSX	MSX時、添付ファイルの題名に使用できない文字、スペース、記号等があるが、全て使用できるようにして頂きたい。	題名を訂正してから添付、送信している。	現在は数字、英字、-記号、ハイフン、アンダーバーのみが半角でも使用可能であるがその他、カッコ、シャープ、アンド記号などもPDFの題名として当初より使用されているケースが多いため使用できるようにして頂きたい。	PDFの題名を誤って訂正してしまうことへの件念が無くなる。また不要な作業の削除に繋がる。	10件以下/月
R03-280	通関	MSX	輸出許可後訂正後のMSXを可能にしてほしい。	許可後訂正後にMSXができない為、書類を税関窓口提出している。	区分1Y許可後に船名変更等の許可後訂正をした後でも、MSXができるようにしてほしい。	業務効率化の為	
R03-281	通関	RSV	許可済み搬出貨物のペーパーレス	各港湾、空港ごとで異なる場合があるが、今なお貨物搬出時にdelivery orderや許可書など添付し用紙を提出している。	NACCS許可情報の共有によりペーパー提出省略	ペーパーレスにより用紙削減、並びに搬出手続きの簡素化	1001件以上/月
R03-282	通関	すべて	印刷機能にPDF化を追加	紙印刷	PDFへファイルとして保存。ファイル名に社内管理番号を付けれるようにする。社内管理番号を付けることはすべての帳票に対して社内管理番号の入力と印刷ができるようにして貰いたい	デジタル化の促進 ペーパーレス化の促進	

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-283	通関	すべて	全ての帳票にバーコードの印刷を行う事で現場作業等でのシステムへの入力を軽減する	帳票を見ながら各システムに管理番号で呼び出してデータやステータスを入力する	バーコード印刷 バーコードには社内管理番号と許可承認番号の情報をセット	紙で行われている現場作業のステータス管理等に利用できる。イメージは宅急便のステータス管理等のような業務の省力化	
R03-284	通関	なし	別送品輸入申告	なし（マニュアル申告のみ）	ペーパーレス時代から取り残されている申告業務。継続検討案件（R02-058）は出ている。スマート税関構想2020の実現を通関業者の立場から全面協力。	適正かつ更に迅速な別送品輸入通関の実現。税金納付のキャッシュレス化、検査指定票による保税運送、窓口申告なしによるコロナ対策、個人情報保護。	101~1000件/月
R03-285	通関	なし、（出力コード SAD4891）検査指定票	予備申告中の検査指定票の発行	予備申告区分「2」でMSX送信後、検査に変更された場合本申告するまで検査指定票が発行されない。	予備申告区分「2」が検査に変更された場合予備申告中でも検査指定票の発行を可能にしたい。	指定票を渡すのに本申告後当日検査に間に合わない、検査貨物運搬の依頼先（ドレー会社、運送会社）に事前に渡せ検査場に確実に到着できる。	10件以下/月
R03-286	通関	リアルタイム口座明細	リアルタイム口座振替通知情報	決められた端末から出力	IDCを送信した端末に出力	リモートワーク等で会社の1端末に情報が出力してしまう為、そのためだけに出勤する人員を確保しなければならない	11~100件/月
R03-287	通関	リアルタイム口座明細	リアルタイム口座振替通知情報	決められた端末から出力	IDCを送信した端末に出力	リモートワーク等で会社の1端末に情報が出力してしまう為、そのためだけに出勤する人員を確保しなければならない	11~100件/月
R03-288	通関	管理資料	月1回配信される管理資料情報を自動的に取り出せるようにしてほしい	現在、管理資料情報の配信時期を見計らい手動で取り出している。もし、月1回の配信を取り洩れた場合、管理資料は消えてしまいます。	配信された管理資料情報が有れば、事前に設定したNACCS端末にポップアップ通知など自動的に取り出せるような設定項目を追加してほしい。	必要な情報の定期取り出し業務が不要となり取り出し忘れもなくなる	10件以下/月
R03-289	通関	管理資料の申告一覧データ	CSVファイルで発行されるが、仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じないような仕様にしてほしい。	管理資料の申告一覧データにおいて、仕入書番号に、（カンマ）が含まれていた場合、表にずれが生じます。	CSVファイルで発行されるが、仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じないような仕様にしてほしい。	仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じないようになる。	10件以下/月
R03-290	通関	許可	CCISで入手可能な、担保番号を取り込めるようにしてほしい	現在は、CCISと契約し担保番号を取得している	輸入許可情報（許可年月日と許可番号）と担保番号を輸入許可情報とは別に提供してほしい。もしくは輸入許可情報に含める形で提供してほしい。	担保番号を自社の通関管理システムに取り込むことで、社内業務が効率化される。	1001件以上/月
R03-291	通関	現行なし	職権で行う見本採取にかかる業務の新設	食品衛生法等の他法令にかかる官庁の公務員が見本採取を行う場合は、公務員が「見本採取表」作成し、税関が確認印を押印することになっているが、実態は、他官庁が、見本採取後、事務所に帰った後に「見本採取表」作成し、通関業者等が税関の確認印を押印してもらい、見本を採取した蔵置場に渡すとともに、1部を検疫所に返付している。北海道内の食品手続きは、小樽検疫所で行っているが、主に冷凍冷蔵庫の多い、札幌、石狩での見本採取が多い。（札幌から小樽検疫所へ行って「見本採取表」を受け取り、札幌、石狩の税関で確認印を受け、再度、検疫所に返付することは、非常に時間を要する。）	見本採取表（収去表を含む）は、検疫所が、NACCSで採取後発行し、関係先（税関、蔵置場、通関業者）にその通知を行う新規業務を作成して欲しい。（検疫所が見本を採取した際に、発行する取扱いであるならば、事前通知（検疫所）→採取通知（確定した数量等の通知））の処理を行うことで可能と思われる。	NACCSで処理することにより、移動時間がなくなり、効率化が図られる。（札幌一小樽間は、片道 自動車約1時間、電車を利用して、ほぼ同程度の時間が必要である）	11~100件/月
R03-292	通関	新設	引き取り申告後、特例申告に至っていない申告番号の洗い出しや、特例申告時に指定した納付方法のチェックを行えるような仕組みを構築してほしい。月単位であれば、「151 輸入申告一覧データ（CBD5100）」で確認はできるが、月途中での管理が特に難しい。	特定月の翌月（特例申告実施月）に「151 輸入申告一覧データ（CBD5100）」で引取申告をソートし特例申告実施済みを確認	過去複数の通関事例において『特例申告漏れ』（引取申告⇒特例申告）を耳にしております。実際の業務フローにおいて左記データを使用し確認は行えますが、確認行為に複数の人間が介在してしまうことにより、特例申告未実施の申告を誤って実施済みと判断してしまうなどヒューマンエラーのリスクが少なからず存在します。	例えば、【通関業者コード】【輸出入者コード】を入力し送信すればその時点での特例申告未実施の一覧が表示される様な機能があれば通関業者、特例輸入者の当事者のみではなく客観的な視点での確認が可能となります。結果としては、通関実務の部分での確認作業にかかる効率化、特例申告月内での確実な納税申告実施効果に繋がるものと考えます。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-293	通関	新設	輸入申告後の納税状況は税関側ではタイムリーにチェックしていると思われるが、民間側でも可能とする仕組みを構築してほしい。 特例輸入者が指示したとおりの納税方法でないと、納付書等を同じタイミングで入手できず納税遅延に繋がることがある。	延納の場合、「IAS」担保照会で担保残高の推移で確認するしか術が無いが、非常に煩雑となる。 直納の場合は確認の術が不十分。 現行、SBF7301『一括納付明細情報 特例申告即納(直納)』にて配信日を選択できる仕様に変更いただいているが、配信日以降に実施する特例申告即納(直納)については通知の対象から外れる。	一輸入者の事例において数社の通関業者に通関業務を委託しており、複数社において納付方法の選択ミス(納期限延長を直納)事例が度々発生している。当該事例においては、特例申告を実施した通関士が直納の事実が気が付いておらず納付書が出力されなかった。 納税が伴う一般申告であれば、即納或いは納期限延長が選択された申告について輸入許可に至りません。誤って直納を選択した場合は輸入許可にはならないので誤りに直ぐ気が付くことができる。 結果として、税関収納課より指摘を受け発覚したケースもある。	【通関業者コード】【輸出入者コード】【特例申告実施月】を入力し送信することで納税が伴う申告において直納申告の事実がタイムリーに確認できるような仕組みがあれば適正な納税、AEO事業者、通関業者の確認作業の業務改善に繋がる。	10件以下/月
R03-294	通関	全業務	航空・海上のシステム識別を選択する必要がある。	IDC・CCAの際、航空・海上のシステム識別を選択する必要がある。カーソルの位置を移動する必要があり、不便です。航空・海上のシステム識別の選択が必要ない業務も多数あると考えます。	航空・海上の両方の取扱いがあるが、IDCであれば、申告番号から航空・海上の判断ができるので、IDCの際にシステム識別の選択が無くても申告できるようにして欲しい。	システム識別が無くなれば、都度選択する煩わしさが無くなり、スムーズに申告ができる。	1001件以上/月
R03-295	通関		輸入許可後の訂正	現在、修正申告及び更正請求以外での輸入申告の輸入許可後の訂正については、申告税関に出向いて行っております。具体的にはプリントアウトした輸入許可書に赤書き訂正及び押印をもらい、許可書を返却してもらっています。遠隔地で申告を行った場合、税関へ出向くのは困難なため、この業務についてもNACCSで対応できるようにシステムを作ってもらえないでしょうか。			
R03-296	通関		特例輸入で引取申告後の納税申告で変更が発生した際、現状マニュアル申告している。特例申告の期限内訂正(修正、更正 延納支払い)のシステム化を希望する。	現在、納税申告時に変更がないよう慎重に申告しているが発生する場合があります。現状システム化されていないので、マニュアル申告書を作成、税関窓口へ提出している。	第6次NACCSからシステム化された修正申告事項登録(AMA)や関税等更正請求事項登録(KKA)と同じように、NACCSで修正し、変更可能にシステム化してほしい。	直接税関の窓口に行く手間が省けるので効率化が図れる	10件以下/月
R03-297	通関		輸出入者として取得したIDについて、申告などの誤送信防止	輸出入の申告事項登録の際に、誤って申告を進めてしまいそうになることがある	通関業者のコードは通関士コードのIDとそうでないものを使い分けることでご送信を防いでいるが、輸出入者のIDではそれが出来ない		
R03-298	通関		リアルタイム口座支払完了通知情報に社内整理番号、荷主REF NO.を表示して欲しい	リアルタイム口座支払完了通知情報に社内整理番号、荷主REF NO.は表示されていない		出力帳票にそれらの番号が記載されていたら、輸入者・通関業者ともに帳票の管理がしやすい	
R03-299	通関		特例申告に係る滞納事案発生防止策	法定納期限内に特例申告がなされない場合でも、ユーザーには何ら通知がされない。	特例申告を法定納期限内に行わなかった場合、即、滞納となることから、期限の前々日頃までに警告のメールを自動配信して欲しい。	法定納期限内の特例申告もれは、滞納扱いとなり、AEO取消要件に該当することから、事前警告のメールを自動配信することにより、手違い等による滞納を減少させることができる。	10件以下/月
R03-300	通関		IDA、EDA時の申告先税関の初期表示について、現行より細かく設定できる仕様の追加	「認定通関業者用申告官署調査票」により、弊社弊所においては全て特定の官署が初期表示される設定としておりますが、一部の蔵置官署に蔵置される貨物のうち、一部の輸出入者に係る輸入申告及び輸出申告について、輸出入者からの要望等により蔵置官署へ申告する必要あり、都度IDA、EDAにおいて申告先税関を変更しております。	申告先税関の初期表示について、NSS等で利用者コード別、蔵置官署コード別、輸出申告・輸入申告別、輸出入者別に随時設定、変更できるような仕様変更お願い致します。	IDA、EDAでの都度の変更が不要となり、業務効率の向上(申告までの時間短縮)及び輸出入者の要望等に対して間違いの発生しにくい状況になると思慮いたします。	1001件以上/月
R03-301	通関		BP申告の際に、担保番号が入っていると、紙出力にも表示されて欲しい	担保番号が入っていても、紙出力には表示されていない。	紙出力における通関審査の際、番号が入っておらず、訂正になった。正しい審査をする上では、画面を見なくてはならないので、紙出力した結果にも反映して欲しい。	左に同じ	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-302	通関		輸入予備申告における蔵置場欄の入力につきまして	輸入予備申告におきましては蔵置場を「蔵置場」欄に入力を行いますが、予備申告後に諸事情で当初予定蔵置場が別の蔵置場にてナックスで搬入登録がされた場合は、輸入予備申告は搬入先の不一致で許可にならないと認識しております。（認識違いでしたらお知らせください） 許可にならない場合はこの場合は蔵置場を訂正する申告となりますので、税関へ連絡し申告の訂正を行うこととなり時間を要することになります。 蔵置場が訂正となる諸事情は、おおよそ口頭確認での搬入先の事前確認となりますので、こちらの聞き間違いや相手の言い間違いが発生した、いつもの場所であったがたまたま今回は別の蔵置場となりその事前の確認を怠っていた、予備申告後に搬入先が蔵置場の事情で変更となったなどがあるかと思えます。急ぐ貨物であるので予備申告を行っておりますので、蔵置場の相違のため申告許可が止まってしまつては予想外の損失を申告を行った通関業者（通関士）が被ることがあります。	そこで 予備申告の場合は蔵置場についてはIDA画面において、予備申告の場合の何らかコードを設定し、蔵置場等のナックスコードは空白で送信できるようにし、予備申告を実際行い、税関の処理が済み、搬入先がナックスで搬入登録を行ったあと、その搬入先ナックスコードを予備申告の蔵置場へ情報を反映させて許可となるという流れにシステムを変更することができればと思ひ要望としてメールいたします。実現性の可否につきましてお知らせいただけたらと思ひます。		
R03-303	通関		17条1項の貨物を輸出するときは輸入許可書等に輸出数量を裏書処理しているが、naccsで残数管理ができるような業務メニューができないか。	輸出申告を行うときに輸出承認証番号等欄に当該輸入許可番号を記入して申告し、かつ税関で裏書数量の確認印をもらうため書類提出している。	17条1項の輸入許可番号で裏書登録をし、輸出申告時に輸入許可番号を入れることで裏書自動処理することで許可後の原本提出を簡略化する。	再輸出貨物の輸出の届け出（T-1385様式）のときに税関で数量確認が容易になる。	11~100件/月
R03-304	通関		管理資料データの中に、通関士識別コードを取り込めるようにしていただきたい。	資料データの中に通関士識別コードが確認出来るようなデータが無い。	管理資料データの中に、通関士識別コードを取り込めるようにしていただきたい。	管理資料などで、審査を担当した通関士を把握することが出来るれば、正しい申告のあり方に繋がると思ひます。	
R03-305	通関		船舶の純トン数を通関業者でも検索可能とする業務の新設	現状では業務コードIVSやIVKで船舶コード等の確認は可能であるが、純トン数の確認が出来ない。	船用品申告の際に必要な純トン数を通関業者でも検索可能とする業務の新設	汎用申請実施後、毎回のよう税関から指摘を受ける為。	10件以下/月
R03-306	海上入出港	DOR	送信先データベースチェック	DOR送信先について、マニフェストにて登録しているCYではなくても、送信できる。	DOR送信先とマニフェストにて登録しているCY情報をマッチングしてほしい。	荷渡可能表示“Y”が立っても、貨物の搬出ができないケースを解消したい。	
R03-307	海上入出港	ICG	輸出許可変更が申請中か許可済みかICGでわからない。	許可されていないのに申告番号は変わっているので一見許可済みに見える。最初の許可日と変更申請日が同日だとみわけがつかない。区分1の時はCEEが入らないので見分けがつかない。	ICGで見分けがつかないように確認しやすくなる。	CYで輸出許可申請中を把握できず、業務を進めてしまう恐れがある。	
R03-308	海上入出港	ICI	コンテナ情報抽出の際に登録されている貨物管理番号を反映させてほしい	船積可能識別はあるものの、バンニング登録の有無等貨物詳細が分かりにくい。	コンテナ番号、貨物管理番号、船積可能識別のみ反映される画面があるとよい	複数本口の貨物の場合、どのコンテナが同じ申告なのか分からず、コンテナ1本ずつICNにて貨物管理番号を確認する必要がある。	11~100件/月
R03-309	海上入出港	ICI	積出港が確認しづらい	バンニング登録時に誤った船積港を登録していると、自社にCYAしているのに照会できない	輸出申告上の積出港をICIで確認できるようにしてほしい	積出港を空白にした場合と、指定した場合の2回照会をかけ、差異を確認する手間が省ける	11~100件/月
R03-310	海上入出港	IDC	海上輸入通関の予備申告から本申告切り替え時のLCL「マーク」「荷姿」を自動取り込みへの要望	現在は、入港日情報は貨物搬入時に自動で引用入力されるが、LCLの「マーク」と「荷姿」は、仮入力がないと予備申告ができなく、予備申告後本申告時、実際の搬入情報に基づき、手入力・修正が必要となっている。	LCLの「マーク」と「荷姿」を空白で予備申告がかけられるようにしたい。	搬入情報が自動で入力されることにより、誤入力を防ぐだけでなく、LCLにおける「予備申告」が可能となる。	101~1000件/月
R03-311	海上入出港	IMI	IMIの照会 画面展開の改善要望。	IMI B/C の照会 画面で一番上からでてこなくて、B/L NO. からでてくる。	照会区分や船舶から照会したい。	他画面と同様の展開の方がわかりやすい。	
R03-312	海上入出港	IMI	仮陸揚貨物が前港に蔵置中の場合IMI上でわかるようにしてほしい。	前港に蔵置中の場合でもIMIで照会されるただしC-コンテナ情報照会では合計本数は揚げ予定総本数であるが、照会されるコンテナには前港蔵置分が出てきておらず、正しい本数を反映しているとは言えない	国内で蔵置されている場合、次港でPKIがかからないため、事前に把握したい。IMI-コンテナ情報で総本数とは別に船卸可能コンテナ本数を出して欲しい	他港に蔵置中であることがIMIでは分からず、PKIをかけた際にエラーとなり発覚する	10件以下/月
R03-313	海上入出港	IWS	輸入CY0不要設定（CY）の場合、輸入許可済み貨物は外して欲しい	在庫照会をかけると保税管理不要の輸入許可済み貨物がデータに載ってくる。そのため再度未許可貨物を洗い出す必要がある。	輸入未許可貨物のみ把握したい、またはそれを含まないか選べるようになるとうい	保税管理の必要な未許可貨物のみ把握ができる。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-314	海上入出港	VPX	VPX繰返部の貨物情報、危険物情報のレイアウト変更	Excelシートから貼り付けることが出来ず各項目毎に手入力が必要だが、種類が多い場合は入力に時間が掛かるためシステム登録せずマニュアル提出している。但しこちらは基本的にはマニュアル申請は行わずNACCSにて申請を行っている。	本船からExcelファイルで入手するも一括で貼り付けることが出来ず、ほぼ手入力となっている。VTX02, VTX03同様に繰り返し部をExcelシートから貼り付けることが可能なレイアウトに変更頂きたい。	客船が所持している医療用麻薬が多種類有り、Excelシートから一括貼り付けできないため入力に時間が掛かるので殆どの場合にマニュアルで提出している。しかしながら税関側からは極力システム登録するよう要望があり極力協力したいため。 WebNACCSではExcelシートをアップロードすることで貼り付けられるが、NetNACCSでもExcelシートから直接貼り付けられるようレイアウト変更をお願いしたい。	11~100件/月
R03-315	海上入出港	VPX	VPXを訂正する際、訂正前に当港および他港で訂正した乗組員情報を入管に送付されるような仕様にして欲しい。	当港でVPXを提出後、前港で乗組員情報が更新された後、当港でVPXを訂正した際、更新された乗組員情報は入管に送信されないため、一度VPXを取り消して再度提出しなければならない。	VPXの訂正をする際は、その時点での乗組員情報(乗客情報)が入管にも送信されるような仕様にして欲しい。	乗組員情報が更新されたことを入管が把握できる。代理店側も取り消す必要がなくなる。	10件以下/月
R03-316	海上入出港	VPX	VPX提出の際、(乗員上陸許可申請をしない場合などに入管が発行する)告知書発行依頼を同じ画面で出来るような仕様にして欲しい。	電話で入管に依頼している。若しくは入管から電話で告知書を発行する旨、連絡がある。	VPXの入力画面にチェックを入れるなどの方法で、告知書発行希望(依頼)である旨を通知できるようにする。	NACCSの処理とは別に電話対応をしなくてはならないため。実現すれば、双方とも業務を簡略化できる。	11~100件/月
R03-317	海上入出港	VPX等	税関、入管への届出の受理確認の追加	税関、入管への許可、承認申請に関しては許可、承認通知が出力されるが届出はパッケージソフトの場合、受理等の確認が出力されない。	税関、入管への届出の際も各官署のシステムが受信したことを何らかの形で送信者にフィードバックして欲しい。	netNACCSでVPXを送信したが官庁側が受信していないとのことで揉めたことが有る。申請者側は送受信履歴を削除していたため送信したことの証拠を提示できなかったため、受信(若しくは受理)したことをシステムで返して頂きたい。	11~100件/月
R03-318	海上入出港	VTX04	VTX04繰返部のレイアウト変更	Excelシートから貼り付けることが出来ず各項目毎に手入力が必要だが、種類が多い場合は入力に時間が掛かるためシステム登録せずマニュアル提出している。	本船からExcelファイルで入手するも一括で貼り付けることが出来ず、ほぼ手入力となっている。VTX02, VTX03同様に繰り返し部をExcelシートから貼り付けることが可能なレイアウトに変更頂きたい。	客船が所持している医療用麻薬が多種類有り、Excelシートから一括貼り付けできないため入力に時間が掛かるので殆どの場合にマニュアルで提出している。しかしながら税関側からは極力システム登録するよう要望があり極力協力したいため。	11~100件/月
R03-319	海上入出港	W〇〇全業務	WEB NACCSの頁切替のスピードアップ	WEB NACCSを夜間に使うと頁の切替が遅いことが多々ある	特に土日祝祭日の夜間にスピードが激減することがある	業務効率の向上	11~100件/月
R03-320	海上入出港	WED	複数ファイルの一括アップロード対応	WUDIにてファイルをアップロードする際に1作業に1ファイルしかアップロードできないためアップロードファイルの数だけ同じ作業を繰り返さなければならない。	1作業で複数ファイルをアップロードできるようにして頂きたい。	10件のファイルをアップロードする際に1ファイル毎に作業を繰り返さなければならないため手間と時間が掛かる。1作業で10ファイル程度を一括でアップロードできるように変更頂きたい。	11~100件/月
R03-321	海上入出港	WPC TPC	「とん税等納付申告控情報」において、英文訳の追記	外航船社等に対して控え資料として送付の際に英文訳が必要なことが弊社で記載・スタンプ押印で対応している	全体もしくはタイトル等一部の英文訳の追記	英文訳を記載・スタンプ押印をしなくて済む。外航船社等に対して資料等にそのまま使用することができる	11~100件/月
R03-322	海上入出港	WPT	入港前統一申請訂正時の仮登録機能の仕様変更	【入港前統一申請の訂正の際】多数の官庁に向け一括で訂正申請を行うために「仮登録」という一時的な文書の保存機能がある。しかし、あくまでも一時的な文書の保存である為、何らかの理由で訂正画面から離れた場合、全ての仮登録済みの申請が破棄されてしまう。	「仮登録」の仕様を、新規登録の際と同じような「一時保存」と同じ仕様にして欲しい。	①入港前統一申請は何度も更新・追加が行われる申請である事 ②WebNaccsはNet.Naccsよりもエラーが起きやすい事 上記2点より、関係官庁へ訂正申請を作成中にWebNACCSエラーが発生すると全ての仮登録済文書が破棄される。その為、エラーが続く程、誤入力の危険性・申請内容の精度低下が懸念される。仕様変更が行われれば、上記の問題点が解消される。	11~100件/月
R03-323	海上入出港	WST	コールサイン入力に伴う「船舶呼出」ボタンを作成してほしい	必要事項を全てベタ打ちしている	係留許可申請(WPT)や入出港届(WIT)であるように「船舶呼出」ボタンがあると良い	コールサインの入力ミスを減らせる	11~100件/月
R03-324	海上入出港	WUD	WUDのアップロードファイル名	WUDIに危険物のデーターをUPLOADすると、UPLOADしたファイル名とUPLOAD名が出てくるが、いざ、入港前統一申請(WPT)にアップロード情報を使用をしようとすると、UPLOAD名だけで分かりにくい。	どの船の危険物の情報かすぐにUPLOAD名にも船舶の信号符号(CALL SIGN)と日時を入れて欲しい。 例: UP-JDXXX(CALL SIGN)-20210520100000	WUDで危険物の登録をしても、そこにCALL SIGNがないためUPLOAD情報を開けても限定できない。いちいちUPLOAD名を控えて紐づけしなければならないため、手間。複数あった場合は、すごく大変。	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-325	航空入出港	CLP01	旅客便で到着する乗員への上陸申請も(Shore Pass発行)をOnlineで出来るようにする。	貨物便での到着者のみOnline申請可。旅客便(他社)到着者がいる場合、事前にエージェントが入管まで出向き手書き申請、手書きshore passを発行	コロナの影響でshore pass申請する乗員数が多く、審査官に押印してもらわないといけないなど手続きに時間を要している。ここだけが現在使用している業務でonline化されていない。いつまでコロナの影響が残るかわからないが、officeより事前に申請出来るようにしてほしい。		
R03-326	航空入出港	GIA01/GIR01		ATA以外は同じ内容を入力	業務コードを1つに集約し、同じ入力シートでGIA、GIRが送信できる仕様へ変更を希望。例えば、検疫のみ提出にチェックをつけることで、検疫にのみ情報が伝達されるなど。	作業の効率化	
R03-327	航空入出港	GIA01/GIR01		マニュアル入力	同じ便でのGIA/GIR送信をするにあたり、機番や航空機種別等同じでなければならない項目が異なっていた場合に、ワーニングが出力される仕様に変更を希望。	誤入力防止、作業の効率化	
R03-328	航空入出港	GIA01/GIR01/GOR01		マニュアル入力	FISとNACCSアプリを連動させ、便情報、日付、機番、スポット情報、出発、到着時刻、区間を自動取り込みできるようにシステムの変更を希望。CREW情報は自動取り込みがされているため連動は可能かと考える。 また、FISと連動できるのであれば、ブロックインの有無をNACCS上で判断し、GORが取得できるか否かをシステムが判断(エラーコーション表示等)するようになるとうい。	誤入力防止、作業の効率化	
R03-329	航空入出港	GIR、GOR	入力する文字枠のサイズ変更	文字枠が画面に対し、小さい	入力する文字枠を大きく変更	入力ミス防止の為	10件以下/月
R03-330	航空入出港	GOR01		前便の入港届を目視で確認	GORに機番を入力した時点でその便の入港届が出ていなければ赤字になるなど強調される仕組みに変更を希望。(入港届は出ているが、出港届が出ていない便のみが黒字になるなど)	作業効率化、ミス防止	
R03-331	航空入出港	PLR、NLR	名前入力欄の文字数変更	名前入力欄の文字数が少ない	名前入力欄文字数増	名前がミドルネームがある方だと文字数が入らず反映していない。(CIQから正当名前を聞かれる。)	10件以下/月
R03-332	航空入出港	PLR01	PLRの日本語がわかりにくいです。	例えばNRTからTPE経由でHKGへ行く場合、1最初の出発空港、2他国からの最終出発空港、3最初の到着地空港、4経由地空港、5最終目的地空港と項目がある中で使用するのは2,3,4になります。	NACCS上の日本語を解釈すると1,3もしくは4,5になるのが自然かと思えます。 外国の航空会社でもNRTから便名が変わるのであれば出発空港、経由地空港、最終目的地空港とシンプルに分けて頂きたいです。	誤った情報を送るのを防げると思います。	10件以下/月
R03-333	その他	ACL01	VAE業務の情報をACL業務 CLPへ反映	VAE業務でVAN情報を入力し更に同じ情報をACL業務でCLPを入力している。	VAE情報をACL業務のCLPへ反映してほしい。	現行の半分の時間で済む。	11~100件/月
R03-334	その他	ACL01	ACLの禁止文字の削減	アンダーバーや中黒など入力できない文字があり、ACL送信後に船社やヤードへ訂正依頼を出す必要がある	アンダーバーや中黒を使用可能にしてほしい	船社やヤードへの訂正連絡に時間を割く必要がなくなり業務の効率化を図れる	
R03-335	その他	ACL01	ACL01の展開画面を減らす	共通部1~5、繰返部と6つ展開画面あり、入力しづらい	可能な限り共通部を統合し展開画面を減らしてほしい	複数の画面行き来する必要がなくなり、入力しやすくなる	
R03-336	その他	ACL01	DISCRIPTION、SHIPPING MARK欄の改行を可能に	改行ができないため、次の行までスペースを入力して対応している	改行できるようにしてほしい	業務の効率化を図れる	
R03-337	その他	ACL01	出力コードSAT1401・SAT1511のレイアウト変更	繰返部1ページ目にコンテナ2本分の明細が記載されるが、残りのコンテナ明細は3ページ目に記載されている。	同じ繰返部の中の情報なので、2ページ目と3ページ目にするか3ページ目に纏める等、見易くして欲しい。	チェック等をし易くするため。	
R03-338	その他	ACL01	品名欄の追加	品名欄が、10欄となっている。	品名欄を10欄より40欄を増やしてほしい。	10欄を超えた場合に船社にアタッチしてメールかFAXを行わなければならないので手間が掛る。	
R03-339	その他	ACL01	改行を可能にしてほしい。 また_(アンダーバー)など使用不可の文字の使用を可能にしてほしい	改行できないためスペースを入力 「_」を含むメールアドレスはアタッチシートにて対応	改行を可能にしてほしい。また_(アンダーバー)など使用不可の文字の使用を可能にしてほしい	入力負担の軽減 昨今需要が増えているメールアドレス記載に対応するため	11~100件/月
R03-340	その他	ACL01 ACL02	ACL送信時にアタッチシート等の資料添付ボタンの設置	船会社ごとにメールやFAXで送信している。	ACL送信時にアタッチシートや資料を添付できるようにしてほしい	船会社・代理店へACL送信と同時に必要書類を送信することができる。	
R03-341	その他	APA	交通者情報の柔軟化	1申請に辺り交通者情報が20名しか登録出来ず、交通者が100名等の大人数になる場合、何件も申請しなければならず手間な為、マニュアルにて税関に提出している。	交通者情報をPDFやExcelの添付が出来る仕様にしてほしい。若しは、MSB対応や汎用申請に変更して頂きたい。	交通者が大勢いる場合に簡易に対応出来る、また業務の時間短縮にも繋がる。	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-342	その他	CFH	食品等輸入届出双方向履歴照会 (CFH)は食品取得後も閲覧可能にしてほしい	*事業者側からは現状3週間くらいで見られなくなる	*3年を超える期間でやり取りを閲覧可能として欲しい	*過去のやり取りを印刷等し、データで保存しておく必要がなくなる。 *過去のやり取りが見られることで担当者が居なくても経緯を確認できる。(検査所側は見られるようである)	11~100件/月
R03-343	その他	CFH MSF01	送信内容の項目を作って(細分化して)欲しい	・CFHで連絡書が来た場合に業者側から返信する場合は、何に関する回答かが分からないため、返答を急ぐもの(モニタリング受検に関する回答・届出の訂正等)はFAXが必要となっている ・MSF01は何に対する添付書類かが分からないため、急ぐものはカウンター提出やFAXが必要(成績書等)	*CFHの場合 ・連絡内容をプルダウンからラジオボタンで、送信内容を選択することにより、検査所側が何に対する回答かを開く前に判別する事が出来、処理の振り分けが出来るようになる。 (例:モニタリングについて、届出内容について、添付書類について、その他、等々) *MSF01の場合 ・添付したものが一覧で表示され、2回目以降は以前添付したものが一覧になり、削除するものはチェックボックスにチェックする、追加だけの場合は過去に添付したのもそのまま残る ・提出物が何なのか分かるようにプルダウンからラジオボタンで添付書類の内容を選択することにより、添付書類が成績書である事が分かり、カウンター提出が不要となる (例:成績書(新規・事前審査済み)、初回添付書類、訂正・差替え書類、その他等々)	現状、人手不足や送信項目が分からないことにより、紙(FAX)で求められているものも、NACCS上で添付や連絡内容が分かれば、検査所側の審査もしやすくなり、ペーパーレスにつながる	101~1000件/月
R03-344	その他	CHJ	システム仕様の変更	仕分け前の個数、重量が仕分け後の入力の合計と一致しなくてもデータが通ってしまう	仕分け前の数量と仕分け後の数量の合計が一致しない場合はエラーとなり仕分け情報が通らないようにしていただきたい	誤入力でも通ってしまい、誤った数量のまま通関が行われる可能性が防げる	10件以下/月
R03-345	その他	DMF	船社や船舶代理店しかできないNACCS不参加の在来船の積荷目録を誰でもできるようにする。 そうしないと、特例輸入者なのにも関わらず搬入前許可を受けることができない。 DMFを通関業者もできるならば私がやり、そのままIDCをやることできる。	搬入後の申告をしているため、分割で搬入がされるものに申告を分割しなくてはならない。また岸壁から保税倉庫までの保税運送も分割して行なっているため、業務にかなりの負荷がかかっている。	DMFを船社や船舶代理店以外の利用者コードからもできるようにする。	時間の効果は計り知れない。1B/Lにつき10以上の分割申告をしているがそれを一括で申告し、保税運送を切る必要がなくなる。	10件以下/月
R03-346	その他	EDC	EDC印刷時における輸出承認番号等の表示について	EDC画面において印刷時の輸入承認等の入力可能数が奇数のため、1)のみ右上にあるため、見間違いを誘発する可能性がある。視線の動きは最初に「輸出承認番号等」の真下である2)に誘導されるからである。人間工学に基づいたインターフェースの改善を求む。			
R03-347	その他	EMC	動物検疫関連業務についても、NACCSで申請した場合管理資料情報の配信を要望します。	食品等輸入届出一覧データ(158)で毎月の届出件数を確認していますが、動物検疫関連業務(輸出)においては管理資料ないため、NACCSを利用して申請手続きは行っているが、毎月申請件数の確認ができません。	管理資料に輸出畜産物関連業務を追加して頂きたい。	NACCS上で申請件数の確認ができるので、申請件数の把握するための事務負担が軽減できる。	10件以下/月
R03-348	その他	HHA	補足情報のコメント欄入力可能文字数を増やしてほしい。	現在の仕様では、補足情報のコメント欄は140文字が入力可能文字数となっている。一方、各種指数の算出にあたっては、保険金額がCIF価額の前で自動計算されているため、保険金額をCFR価額前提とした場合、各種指数の自動計算がなされない。この場合、各種指数については数値を補足情報のコメント欄に入力している。	各種指数に加えて輸入者よりメモ等のコメント欄への文字入力を依頼された場合、文字数制限に抵触し、文字数の削除やメモ記載を断念していただく等の支障が発生しているため、補足情報のコメント欄の入力可能文字数を280文字程度に増やしてほしい。	輸入者にもわかりやすい内容でコメント欄の入力ができる。	10件以下/月
R03-349	その他	IAS, IAS01, HKA, HKB	業務をWeb化してほしい	Web化が必須となっている	現行中で実施してほしい		
R03-350	その他	ICG	DORの通知先確認	ICGでDORの通知先の確認が出来ない	DORが誤った通知先で送信されていてもICGで確認出来ない	DOR送信をした人しか通知先が確認出来ないため、正しく送信されているのか誤って送信しているのか他の人には分からないため不便である	11~100件/月
R03-351	その他	ICG	DOR 取消送信	DORの履歴が付くのと、荷渡可能表示が消える?	DORの履歴の横に「取消」等わかりやすくしてほしい	DOR送信の履歴が何度もついている時がある。通知先の変更なのか取消送信なのか瞬時に判断するのが難しい	10件以下/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-352	その他	ICG	ICGを1ページにまとめられないか？	印刷時、FCLの場合のICGで、コンテナ番号のみが、1ページに収まりきらず、2ページにまたがってしまう。	全体的に情報が多くて2ページになるならやむを得ないが、コンテナ番号のみ2ページ目にきており、神の出力の無駄にもつながっております。一部記号化するなりで、スペースを省略し、1枚の紙に集約できないか。	資源の有効活用、紙出力の削減。	
R03-353	その他	ICN	代理店IDでの貨物管理番号、許可状況を確認	オペIDでのみ確認可能	代理店IDでも貨物管理番号、許可状況の確認をしたい	代理店として通関状況の確認をしたいため	11~100件/月
R03-354	その他	ICN	コンテナ情報照会にBL番号を反映	表示欄無し	HBLでは搬入確認番号の記載がない場合があるのでコンテナ情報にMBLが表示されると好ましい	MBLが判明しないと輸入通関前の他法令の申請などの業務が進められず、業務が滞ってしまう	11~100件/月
R03-355	その他	IDA, EDA	エラーメッセージを分かりやすくしてほしい。	わかりづらい。	具体的に詳細に記載してほしい。	ナックスセンターへの問い合わせ回数が増える。	10件以下/月
R03-356	その他	IDC	IDC申告番号について	IDCの申告番号はEDCのものとは異なり、スペースがあるためダブルクリックで番号全体を選択することができない。ドラッグする必要があるため時間をとられる。スペースの存在に合理的な理由があれば別だが、たとえ1秒程度といえどユーザーの利便性を阻害するべきではないと考える。			
R03-357	その他	IDC	リアルタイム口座の通知情報について	現在の運用がEXC型という種類の電文らしく、申告者にかかわらず蓄積電文を取りに行った人の端末に出力されるようになっており、誰が取得したかわからなくなってしまい、見つけられないこともあった	許可書が出てくるタイミングで申告者の端末に出力されるよう改善していただきたいです。通関担当のみならず、保税担当者が間違えて取得してしまう事もあり大変不便です。CCA業務を行っているのですべての端末に同様の改善は望めないかもしれませんが、少なくとも通関士コードでIDC申告したものについては各自の端末に出力されるようにしてほしいです		
R03-358	その他	IFA	製造者・所の住所欄の字数(桁数)が少ないので増やしてほしい	*現行：90桁	110桁	*英語表記の住所は長いため、現行の桁数に収まらないことがある *備考欄への入力が増える *検疫所も審査時、2か所確認する必要がない	11~100件/月
R03-359	その他	IFA	備考欄の行数を増やしてほしい	*現行：296桁	下記を「遺伝子組み換え」や「紙書類の有無」のように、別枠の増設 ・ポジティブリスト適合を別枠で「Y」を適合とする(添付書類の欄のように) ・香料は日本の基準に適合を別枠で「Y」を適合とする ・NO RADIOを別枠で「Y」をNO RADIO とする ・用途コードに「業務用」のコードを追加し、用途：その他での備考への入力を削減 ・記事欄の増設(通関にもあるように、検疫所の審査とは関係ないが社内整理番号等が入力できる欄) (桁数というより、簡易入力・別欄ができれば足りるか)	*通知などが増えると、入力事項が増え、文字数を範囲内に収めるために、苦慮する事がある	11~100件/月
R03-360	その他	IFA	食品申請の共通管理番号の紐づけ	現在は、共通管理番号は、9申請までしか紐づけできない仕様となっている	食品申請をするときに、共通管理番号との紐づけが9申請までしかできない。9申請を超えるとMSXでの対応となり、紐づけできる申請数をふやしてほしい	税関職員も食品申請の完了をNACCSのみで確認できる	10件以下/月
R03-361	その他	IFA	食品申請の入力アイテム数	現在は、1申請で7itemしか入力できない仕様となっている	食品申請では、基本1itemで1欄を使用する。8itemの輸入となれば、2申請になってしまう。他法令の植物・動物検疫では、1申請で20itemの入力できる仕様となっている	食品監視課の審査効率や1BLで複数申請が回避できる	10件以下/月
R03-362	その他	IFA	ポジティブリスト欄追加	備考欄に手入力	樹脂製の容器器具のポジティブリスト制度が20年6月から施行されたことで、ポジティブリスト適合・経過措置対象と手入力する必要があるが、チェックボックスなどで簡素化希望 非対応の商品については未入力でもOKな仕様希望	入力の簡素化	101~1000件/月
R03-363	その他	IFA	備考欄の行を増やしてほしい。	備考欄の行が少ない。	備考欄の行を増やしてほしい。	備考欄記載事項が多いにもかかわらず、行が不足している。	10件以下/月
R03-364	その他	IFA	実績番号を入力すれば、事項登録内容をコピーしてほしい。	実績番号入力するのみ。	事項登録内容の手間が省ける	間違いが少なくてすむ。	11~100件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-365	その他	IFA IFD	食品届出・繰返部の原材料と添加物のカーソル移動を変更してほしい	*原材料1→添加物1→原材料2→添加物2・・・と原材料と添加物を交互にカーソルが移動する	*原材料1→原材料2→原材料3・・・ 添加物1→添加物2→添加物3・・・という動きにして欲しい	*原材料と添加物を交互に入力する事はほぼ無いので、現状の動きだとTABやENTERキーかマウスでカーソルを移動しなければいけないため、1アクション無駄になる	101~1000件/月
R03-366	その他	IFC	届出可能時間の拡大(24時間)	8:30~17:00のみ届出可能	届出(IFC)の届出可能時間を拡大して欲しい *動検・植検・通関(予備申告)は24時間可能	17:00に間に合わない場合、翌日提出したい書類がある場合は、受理時間に間に合わせるため、翌朝早く来て届出・書類のセットをする必要がある 審査時間(受理時間)と届出可能時間は別物と考えてもらえれば、届出が出来ても問題は無いと思う	11~100件/月
R03-367	その他	IFC	簡易審査のものでも事前届の場合は、済証を返却しないで欲しい	簡易審査の場合、事前届でも届出と同時に済証が発行される	事前届の場合でも、IFGを行わないと済証は発行されないようにして欲しい *税関の区分「1」のように、簡易審査でも予備申告の場合は、許可書が出ないような仕組みにして欲しい	搬入後に変更箇所があっても訂正ができないため、届出を取下げ、再度届出する必要があり、業者側・検疫所側 両方の負担となる	11~100件/月
R03-368	その他	IIF	他営業所で実施した食品届出の届出情報の照会ができる様にして欲しい。	他営業所で実施した食品届出の照会は同一通関業者であっても照会する事ができない。	他営業所で実施した食品届出の照会が同一会社(通関業者)であれば照会できる様にして欲しい。	他営業所での届出は実績として継続案件となり日本全国のどの検疫所にも「継続」として届出が可能。その継続の内容はせめて同一会社であれば照会可能として欲しい。 IIFで開いた画面の繰り返し部の「行のコピー」を取って、当該届出の繰り返し部に貼り付けたい為。	10件以下/月
R03-369	その他	ILC	動物検疫関連業務についても、NACCSで申請した場合管理資料情報の配信を要望します。	食品等輸入届一覧データ(158)で毎月の届出件数を確認していますが、動物検疫関連業務(輸入)においては管理資料ないため、NACCSを利用して申請手続きは行っているが、毎月申請件数の確認ができません。	管理資料情報に輸入畜産物関連業務を追加して頂きたい。	NACCS上で申請件数の確認ができるので、申請件数の把握するための事務負担が軽減できる。	10件以下/月
R03-370	その他	IVK	一つの船社に一つのコールサインしか表示されないようにしてほしい。	同一船社で二つのコールサインが表示されることがあり、許可後に変更依頼されることがある。	同一船名、同一船社の場合は、コールサインの登録は一つしかできないようにする。	許可後の変更の手間がなくなる。	10件以下/月
R03-371	その他	MSF01	MSF01の書類添付の内容まで履歴で見れるようにしてほしい	*1度添付し、新しいものを添付する場合は一旦削除し新しいものを添付するが、送信履歴以外で履歴をたどる事は出来ない	*MFS添付書類の履歴をたどれるようにして欲しい (CFHIは可能)	IIFでも添付が有るのか無いのか分からない。そのため、何度か差し替え等があった場合などで時間が経った場合に最新の添付内容が見たいとなった時に不便を感じたため	11~100件/月
R03-372	その他	MSF01	NACCSでの書類送付を複数回出来る仕様に変更していただきたい。(届出番号で呼び出して、追加での書類送付が可能な仕様に変更していただきたい。)	FAINS(NACCS)で届出をした後、MSF業務を利用して届出に係る書類を添付ファイルにて送信できる仕様になっているが、この業務では追加で書類をお添付・送信することが出来ない。追加書類が生じた際は、先に送信していた書類を一旦全削除し、全ての書類を送信し直さなくてはならず非効率的であるため。	・日度添付したものを削除せずに、どんどん追加で添付できるようにする ・添付⇒削除⇒添付・・・ではなく、添付は何回でも出来、一覧から不要なものは削除できるように	・削除する手間・再添付する手間が省ける ・時系列で見られると、どれを最後に提出したものが確認できる	
R03-373	その他	MSF01	食品申請のMSF01ファイルの容量の増量	現在は、5MBである	原則、試験成績書の検体写真は、カラーでの対応。画質を落とすと「不鮮明である」と連絡が入り、窓口へ提出しなければならない	現在、通関業務は最大容量が10MBである。容量が増えることで業務の効率化に繋がる	10件以下/月
R03-374	その他	OLC	搬入時申告「I」で送信したら、「入港日」を搬入時のICGデータを自動で反映するようにしてほしい。	搬入時申告「I」で送信したら、「入港日」がOLC送信時のICGデータ反映され、搬入時に自動でOLC送信時のICGデータのまま申告される。		まだ先の入港日のものも搬入時自動申告であらかじめ送信しておきたいが、当初のICGデータから入港日の変更になることが多く、搬入時自動申告では最新のICGデータが反映されないのでは利用しにくい。また古いデータのまま承認されてしまい、税関に訂正の依頼をする事もある。	10件以下/月
R03-375	その他	RSS01	ディスパッチ(輸入コンテナ引取予定ID確認情報)を事業所コード返信より、事業所内の引き取り依頼した各認証コード取得者へ返信してほしい	ディスパッチ(輸入コンテナ引取予定ID確認情報)を事業所コードへ一律返信されるので、ディスパッチがNACCSより返信されても、データ抜き出し者が特定できない場合は、各認証コード者へ返信の確認をする必要、また確認ができない場合はマニュアルにて再度CYへ搬出申し込みをする必要があり手間がかかる。	ディスパッチの返信は、RSS01業務の送信者へ直接返信されるように変更していただきたい。	業務行程の効率化、工程削減	101~1000件/月

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-376	その他	URY	通関士用の利用者ID の初期割当ておよびパスワードを変更する場合、システムからパスワードを払い出してほしい。併せて、IDとパスワードの一元管理が可能になるようにしてほしい。	パスワードを変更を行うために、新たに自らパスワードを考案しなければならない。	通関士用利用者IDに付随する初期パスワードからのパスワード変更、人事異動などで通関士IDを「UTB」で変更した際のパスワード変更の際に、NACCSから自動でパスワードを払い出して欲しい。	セキュリティに問題のないパスワードを考案することが無くなり、安全が確保できる。	10件以下/月
R03-377	その他	管理資料データ	管理資料H01 輸出申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保税台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	11~100件/月
R03-378	その他	管理資料データ	管理資料I51 輸入申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保税台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	11~100件/月
R03-379	その他	管理資料データ	管理資料H01 輸出申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保税台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	11~100件/月
R03-380	その他	管理資料情報	毎月1日に配信されるCBD5100(輸入申告一覧データ)の申告等種別がIBPで申告した際はIBPで表示	IBPで申告した際もBPで表示される。	概要に記載の通り	現在のシステムの仕様では許可年月日を確認しなければ、BP・IBPの判別ができない為、都度確認する必要がある。	10件以下/月
R03-381	その他	新規	税関に申請する減却のシステム化	到着地税関ごとに減却申請書を紙で提出している。	SEA-NACCS に登録して申請可能にして欲しい。	直接税関へ出向く手間が省ける。税関の運用次第では日々の効率化がかなり見込める為。	11~100件/月
R03-382	その他	新規	通関業法に定める「従業者等異動届」ならびに「在宅勤務開始・終了届」をNACCSで行う。	システム化されていない(と記憶する)。	NACCSから当該届出を行い、併せて(特に通関士の利用者IDなど)の管理を簡便に行えるようにして欲しい。	管理の一元化	10件以下/月
R03-383	その他	不明		なし	デジタル証明書(ワクチン接種記録、陰性証明書など)の導入に向け、航空会社から送信しているAPI、PNRをCIQでご連携いただき、ワクチン接種記録や陰性証明書といった健康情報も含め、「渡航可否」を判定いただいた上で、航空会社搭乗系システムへ返却する仕組みが構築できないか。		
R03-384	その他	不明		北米-NGO-NRTや、RGN-OKA-NRTといった、国内線区間も含む国際線運航を実施しているが、現行NACCS仕様では、国内線区間のPNR受信ができないため、事前送信を免除いただいている	国内線区間のPNR送信についても受信できる仕様へ変更希望		
R03-385	その他	連絡書	検疫所からの連絡書の連絡内容の文字数を増やして欲しい	*現行：296桁	600桁	連絡内容が多い場合、1回の連絡書に収まりきらず、用紙の1/4程度しか印字されていないにも関わらず、何枚もに渡って連絡書が来ることがある。文字数が限られているため、連絡内容の意図する事が分からない時がある。	11~100件/月
R03-386	その他	連絡書(検疫所側)	連絡書に担当官の名前を入れて欲しい	旧NACCSでは、連絡書に担当官の名前も印字されていたが、7次になってから印字されなくなった	*連絡書：担当官名を印字して欲しい(担当官を知りたい場合はIIFを確認する必要がある)	*連絡書：連絡書が来た後にNACCSで担当官を確認する手間が省ける	11~100件/月
R03-387	その他		データ送信中のキャンセルボタンについて	申告時、データの送信中のダイアログのキャンセルボタンが機能していない。キャンセルしてもデータは送信されている。まるで欺瞞のような意味のないダイアログは表示すべきではない。			
R03-388	その他		元に戻す、ボタンについて。	挙動が不安定。 AAAAA BBBB CCCCC DDDDDDD と入力し、Dのみをすべて削除したあと元に戻すボタンを押すと、当該入力ボックスの入力データがすべて消える。もう一度もとに戻すボタンをおしても消してしまったDは再入力されない。まともなアンドウの実装を要望する。			
R03-389	その他		データの入力に関して	入力ボックスと実際の入力可能文字数が一致しておらず、入力可能な文字数が一見してわかりづらい。合理的理由がなければ実際の入力可能文字数と入力ボックスの大きさは一致させるべきである。			

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-390	その他		入出力装置設置届を汎用申請を用いた届出が出来るようにしていただきたい	届出書原本を所定の用紙を検疫所のカウンターに提出 設置届を提出後、食品の輸入届出を行えるまでに数日を要する	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）入出力装置設置届出書の必要事項をNACCSにて入力し、届出を行う ・届出者（輸入者）の記載した同意書等が必要な場合は、NACCS添付送信する ・登録が完了したらNACCSを通じて通知（返却）される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	
R03-391	その他		確認願をNACCSで出来るようにして欲しい。	所定の用紙を検疫所のカウンターに提出	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）確認願をNACCSを通じて申請、検疫所の確認の後、NACCSを通じて返却される ・必要に応じて共通管理番号等を取得し、通関の申告と連携を可能にする ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	
R03-392	その他		品目登録をNACCSで出来るようにして欲しい。	所定の用紙を検疫所のカウンターに提出	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）品目登録をNACCSを通じて申請・NACCSで添付書類を添付送信する ・質問事項・連絡等はNACCSを通じてやり取り ・登録が完了したらNACCSを通じて登録内容の返却と登録番号が付与される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	
R03-393	その他		事前相談をNACCSで出来るようにして欲しい。	事前相談票をFAX送付	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）事前相談をNACCSを通じて申請・NACCSで添付書類を添付送信する ・質問事項・連絡等はNACCSを通じてやり取り ・登録が完了したらNACCSを通じて登録内容の返却と登録番号が付与される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	
R03-394	その他		見本採取票（収去証）	未だに原本扱いのため、非常に手間がかかっておりNACCSのシステムに組み込んでいただきたい	・見本採取票・収去票をNACCSを通じて交付 ・食品届と連携し、一元管理できるようにする ・NACCSを通じて外貨の場合は税関と倉庫とも連携	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	
R03-395	その他		検査貨物をヤードから搬出する手続きのシステム化	ヤードから検査指定票に印鑑を受領し搬出している	搬出手続きをシステム化してほしい	業務の効率化を図れる	
R03-396	その他		使用可能なショートカットキーの追加	印刷プレビュー画面で“CTRL+P”の印刷ショートカットキーが使えず、印刷マークを押し設定を確認してからの印刷となっている	ショートカットキーを使用できるようにしてほしい	業務の効率化を図れる	
R03-397	その他		危険物事前連絡表送信	オリジナルに証紙を貼り、港湾災害防止協会に持込み、手続きをしている。	NACCSで危険物事前連絡表の送信・証紙代の引き落としができるようにして欲しい。	持込時間等を勘案せず、緊急の危険品案件に対応できるようになる。	
R03-398	その他		危険物明細書の送信	現在、メールまたはオリジナル書類の提出で対応している。	各ターミナル・船会社に危険物明細書をNACCSで送付できるようにして欲しい。	ペーパーレス促進の為。	

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	要望に関わる事象の発生頻度
R03-399	その他		一覧画面で検索できる内容を増やしてほしい。	検索区分は複数あるが、一覧に表示されている項目でのみ検索が可能。具体的に抽出できるのはB/L番号のみ。	より詳細に検索できるようにしてほしい。申請した内容(例:コンテナ番号)からも検索できるようにしてほしい。	検索できる内容の幅が増える。	11~100件/月
R03-400	その他		業務エラーをまとめて抽出したい。	エラーとなった業務は、エラーコードが表示されている欄を、一覧を遡って探している。	エラーとなった業務をチェックボックスを設けるなどして抽出できるようにしてほしい。	一覧から効率的に情報を抽出できるようになる。業務を更新中の場合、画面が動いて動作が悪くなるため。	11~100件/月
R03-401	その他		2行以上ある入力欄で改行ができない。	2行以上ある入力欄で改行ができない。	2行以上ある入力欄で改行ができない。	スペースで入力しなければならず、入力効率が悪い。	
R03-402	その他		荷主リアルタイム口座利用のための条件緩和(JASTPROの登録に関係なく、誰でもリアルタイム口座の登録ができるようにしていただきたい)	JASTPROに登録している(輸出入者符号をもっている)輸入者だけが、荷主リアルタイム口座を申請できる。	JASTPRO登録の有無に関係なく、荷主リアルタイム口座の申請・利用を可能にしてほしい。	法人番号で申告ができるようになったことから、JASTPROへの登録に必要性を感じていない荷主が多いこと。関税の徴収は、全輸入者を対象としていることから、納付方法についても条件を付けることなく、全輸入者が申請・利用できるよう、開かれたものにしていただきたい。また、納税義務者は輸入者であるにもかかわらず、慣例的に通関業者が立替えていることについて、通関業者の負担とリスクが問題視されており、輸入者へ荷主リアルタイム口座への切り替えを自主的にお願いしているが、JASTPROへの登録が障壁となり、結局通関業者が立替えざるを得ず、状況が好転しない。荷主リアルタイム口座の利用が促進されることは、輸入者が納税義務者であるということの自覚を促すとともに、適正な申告に対する意識向上につながるものと考えます。	11~100件/月
R03-403	その他		NACCSの仕出人・仕向人の住所の区切りをなくす	NACCSに入力する際の仕向人・仕出人の住所の区切り(市・区など)をなくして頂きたい	NACCSに入力した際、住所の区切りの間違いを発見する場合がある為	NACCS仕様の改善	
R03-404	その他		CFS輸入貨物の予備申告時のケースマークの扱い変更	CFS輸入貨物の予備申告を行った際は、倉庫搬入時に入力された記号・マークが上書きされる様にして頂きたい	記号・マークの細かな内容の相違により、予備申出後・本申告前に記号・マーク訂正が発生する場合がある為	NACCSの利便性向上として、倉庫搬入時に入力された記号・マークが上書きされるようにプログラム変更することが可能かどうかを検討	
R03-405	その他		確認願いのシステム化	確認願いを提出	見本持出申請のようにNACCS画面へ直接入力し審査いただく(紙提出を省略)	食品衛生法非該当である届出となるため、現在用紙を提出し対応することで時間省略出来る。	11~100件/月
R03-406	その他		厚生労働省からの連絡書について	複数の連絡がある場合、2行ほどしか連絡事項が表示されない。	厚生労働省からの連絡書を1申告1枚で表示されるようにしてほしい	連絡事項が見やすく、用紙の節約になる。	10件以下/月
R03-407	その他		許可・承認貨物(輸出)情報	許可・承認の確認事項	現在の内容にBOOKING NO・揚港の記載を情報として追記してもらいたい。	ICGでの確認が省略される。	1001件以上/月
R03-408	その他		厚労省に申請する食品確認願のシステム化	厚労省に申請する原本を紙で提出→厚労省の書類審査→押印にて返却	NACCSで申請可能とするようにしてほしい	直接窓口に向く必要がなくなり、日々の業務の効率化を図れる。	11~100件/月
R03-409	その他		確認願いのシステム化	確認願いを提出	見本持出申請のようにNACCS画面へ直接入力し審査いただく(紙提出を省略)	食品衛生法非該当である届出となるため、現在用紙を提出し対応することで時間省略出来る。	11~100件/月
R03-410	その他		通関業者許可事項の登録・修正の業務コード化	・通関業者の許可事項の変更は都度税関様式B1140もしくはC9030で申請書を作成し、提出している。 ・自社情報の最新の登録内容は、過去に提出した申請書を取りまとめ、別途リストで管理している。	左記提出した情報を業務コードで管理しNACCSで①自社登録情報の閲覧、②許可事項の変更発生時には、当該業務コード内で変更申請、③税関、通関業者双方でダウンロードができる仕様にする。	許可事項は、変更があった内容のみ申請しているため、自社情報の最新の登録内容は別途リストで管理している。NACCS内で最新の登録内容の管理ができれば税関も通関業者の情報管理を一元化・データ化でき、また通関業者側でも管理の簡素化につながる事が可能。	10件以下/月
R03-411	その他		管理資料データ【G02輸出貨物搬出入データ】への表示項目追加。	管理資料には金額の表示はないので、別途積戻し鋼材用の保税台帳を作成している。	G02輸出貨物搬出入データへの金額(FOB円建て表示)を追加してほしい。	金額は保税工場における保税台帳の記載項目となっており、管理資料に金額が表示されれば保税工場も管理資料を保税台帳として活用できる為、保税蔵置場と同様に保税台帳の電子化が可能となる。また、管理資料である為、記載ミスなどの防止も期待できる。	11~100件/月
R03-412	その他		NACCS管理帳票として、「見本持出」「植物検疫」などの一覧データも配信を希望する	輸出・輸入の申告一覧データは管理資料配信されるが「見本持出」などは一覧データが無い	件数表示だけではなく、「見本持出」等の一覧データを管理資料として配信してほしい。	通関業明細簿作成などへのデータ活用	10件以下/月